

# 第25回記念テレワーク推進賞 受賞事例 資料集



一般社団法人日本テレワーク協会 2024年12月発行

# 受賞企業・団体一覧

## table of contents



会長賞	.....	日本情報通信株式会社
実践部門 優秀賞	.....	東洋通信工業株式会社
実践部門 奨励賞	.....	株式会社Colors
実践部門 奨励賞	.....	ネクスキヤット株式会社
実践部門 特別賞	.....	フジ住宅株式会社
普及貢献/ビジネス創出	優秀賞	..... 岡崎市
普及貢献/ビジネス創出	奨励賞	..... 株式会社HQ
ユニークな取り組み	ユニーク賞	..... 株式会社シーエーシー

# テレワーク推進賞

<https://japan-telework.or.jp/associationactivities/suishin/>

一般社団法人日本テレワーク協会（会長：栗原 博、所在地：東京都千代田区、以下日本テレワーク協会）は、この度「第25回記念テレワーク推進賞～多様な働き方大賞～」の受賞企業・団体を決定しました。

日本テレワーク協会は、ICT（情報通信技術）を活用して場所や時間にとらわれない柔軟な働き方である「テレワーク」の普及促進を目的に「テレワーク推進賞」表彰事業を2000年から継続して実施しております。

四半世紀の節目を迎えた今年度は「人とデジタルのコラボで多様な働き方ってありかも!」をテーマに YouTube 動画による応募を受け付け、テレワーク推進賞審査委員会（委員長：比嘉邦彦 東京工業大学名誉教授、一般社団法人 日本テレワーク学会 特別顧問）により厳正に審査を行った結果、日本情報通信株式会社に会長賞を授与することとしたほか、合計8組の企業・団体の授賞を決定しました。

今回の決定を受けて、2024年 12月 9日（月）「JTAアニュアルカンファレンス」において表彰式を開催し、受賞者表彰と事例発表を行います。また第25回記念イベントとして、過去受賞企業、審査委員長、日本テレワーク協会会長による「プレミアムトーク」を開催いたします。





事例紹介  
case study



会長賞

日本情報通信株式会社







# 「ハピネス経営」を支える ハイブリッドワークスタイルへの取り組み

日本情報通信株式会社



# 会社概要

# 会社概要



日本情報通信株式会社

会社名

日本情報通信株式会社

設立

1985年12月18日

資本金

40億円

株主

日本電信電話株式会社(65%) NTT Group  
日本アイ・ビー・エム株式会社(35%) IBM

売上高

490億円(FY23連結ベース)

社員数

1,323名(グループ会社計:FY24 4現在)

お取引先

約2,600社

## 選び抜かれた最新で最良のソリューションを 駆使し、幅広い分野の事業に取り組む



# AA1000に基づくISO30414（人的資本開示） BSI社による第三者保証を取得

2023年4月27日、BSI社より、ISO30414（人的資本開示）の保証を受けました。



ISO 30414は、2018年12月に国際標準化機構（ISO）が発表した人的資本の情報開示のためのガイドラインであり、人的資本に関する11の領域と58の指標について定量的な測定基準が示されています。

※ISO 30414 保証は日本企業としては4社目。  
Sustainable Report AssuranceであるAA1000準則の  
第三者保証の取得は**グローバルで初**です。



**弊社の目指す「ハピネス経営」について**

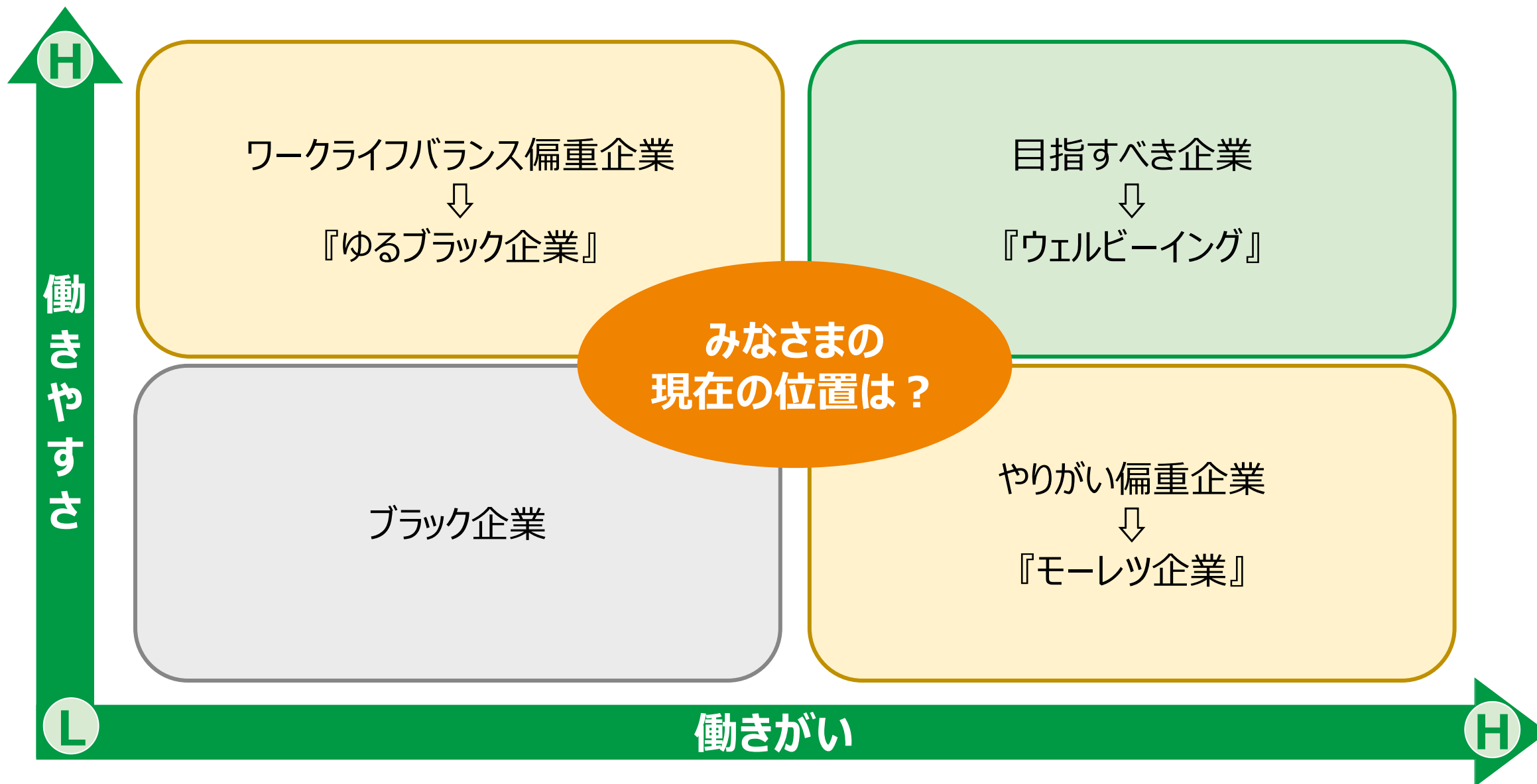


# Happiness × 人的資本経営

社員の幸せ、お客様の幸せ、社会の幸せ

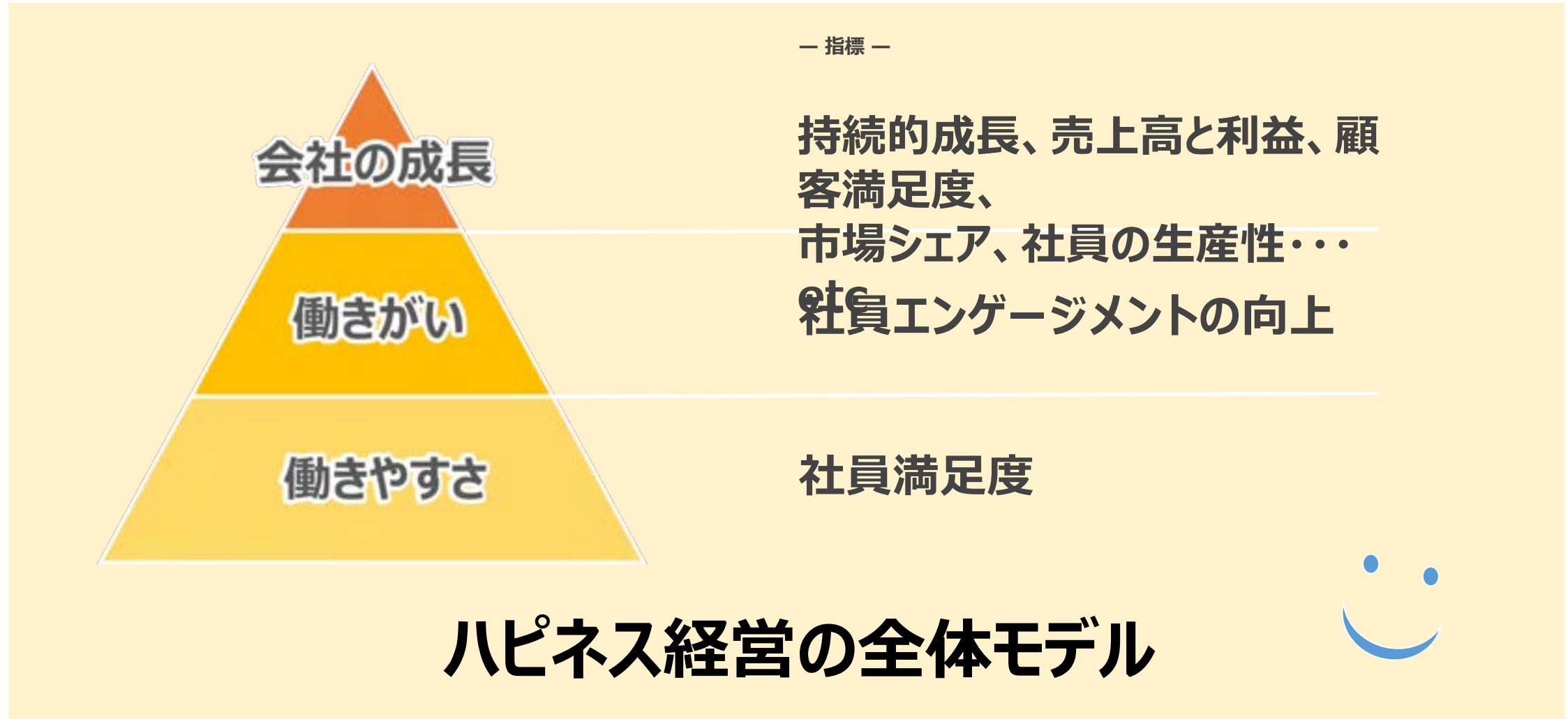


# 「働きやすさ」と「働きがい」



# NI+Cグループが推進する「ハピネス経営」

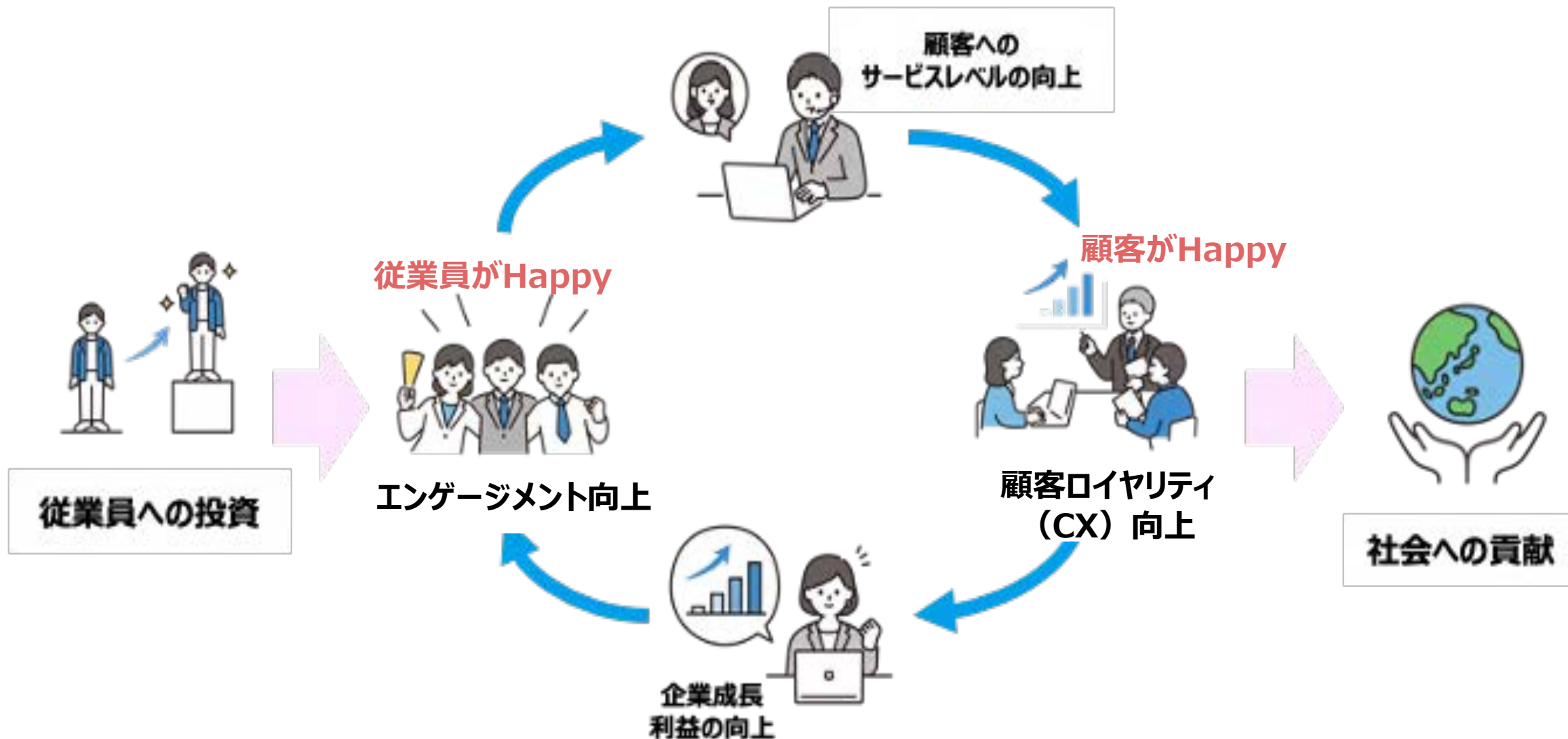
「社員の幸せ、お客様の幸せ、社会の幸せ」を目標に「ハピネス経営」を推進しています。





# 人的資本経営（ハピネス経営）のビジネスモデル

社員を幸せに、お客様を幸せに、社会を幸せに！



# ハピネス経営の実現に向けた取り組み

社員のWell-beingの最大化を目的とし、新しい働き方の推進、健康経営の推進、人材の育成、D&Iの推進を行い、社員一人ひとりがいきいきと働き、能力を最大限発揮できる環境作りに取り組んでいます。定期的にエンゲージメント調査で数値を測定するとともに、PDCAサイクルを実施しています。

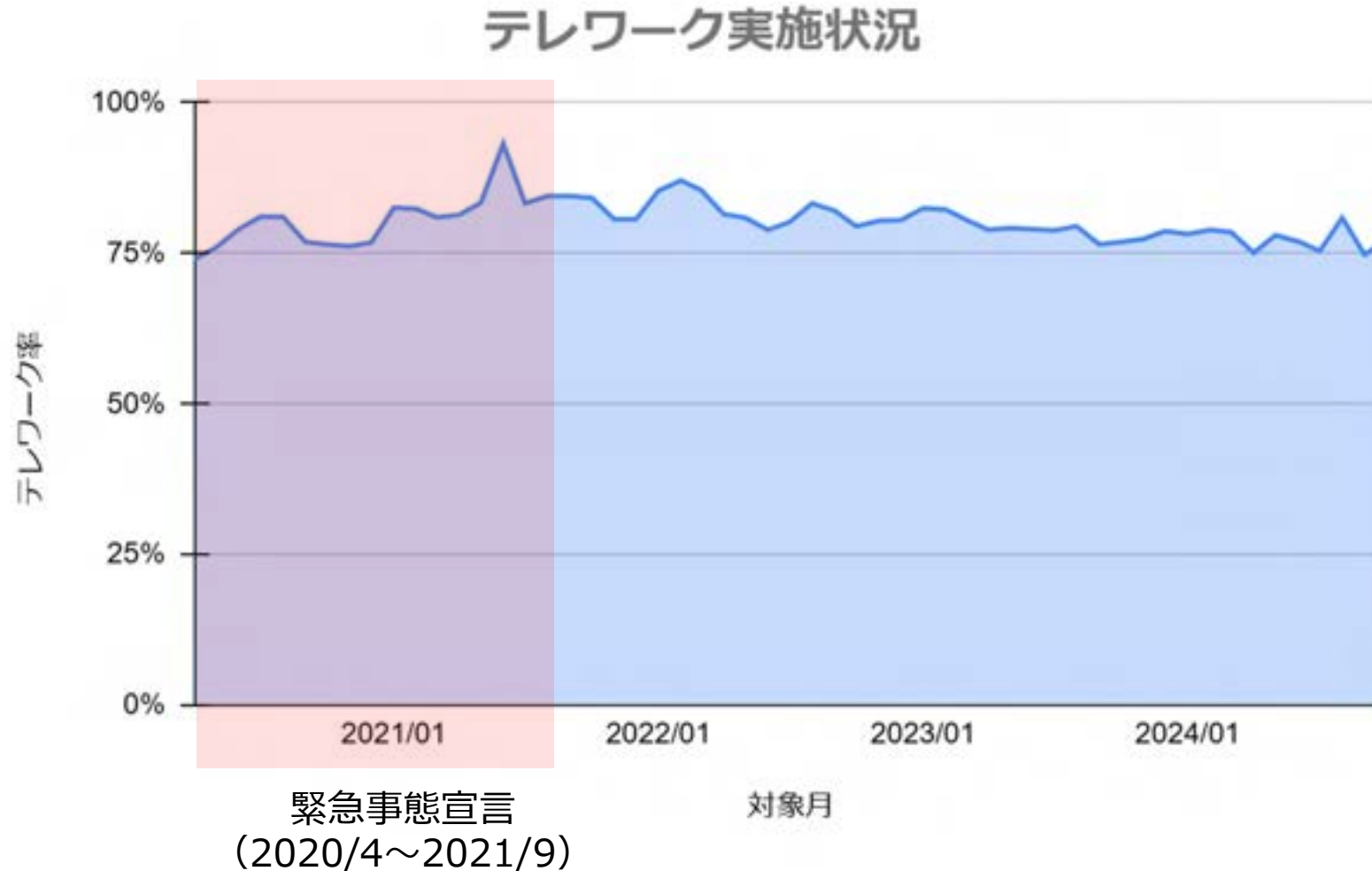




## ハイブリッドワークスタイルへの取り組みと効果

# 弊社のテレワーク実施状況

弊社では2020年4月の緊急事態宣言以降、全社でテレワークを推進してきました。現在でも従業員の声を反映し、柔軟な働き方を整備していくことで平均して約80%のテレワーク実施率となっています。



# テレワーク環境下で想定された課題と取り組み

## テレワーク当初、問題視されていた課題



ライフスタイルに合わせた  
多様な働き方



社員の健康（メンタル・  
フィジカル）管理



コミュニケーション  
不足・不安

# 多様で柔軟な働き方

## 「どこでもOffice制度」 (Chotto、Zutto)

社員自らが指定した場所・空間を勤務場所として定め、働くことが可能

※利用時は一定の条件あり



のべ770名が利用  
育児・介護での  
利用あり

## テレワーク環境整備

テレワーク環境整備を図るため、RW補助手当を創設するとともに、モニター、オフィスチェア（約3割利用）、自己研鑽用ipad等の全社員への貸与やシェアオフィス（無料利用）の導入等を実施し、貸与については社員の100%が利用





## 社員の定期的な体調把握 (パルスサーベイ)

ハイブリッドワーク環境での社員のメンタル不全を早期に把握、対応を行うことを目的とし、社員の体調管理に向けパルスサーベイを毎週実施



### サーベイ項目

- ①業務量は適切である
- ②自分のペースで仕事ができている
- ③あなたの職場の人間関係は良好である
- ④仕事に対して満足している
- ⑤睡眠・食事は適切に取れている

業務のパフォーマンスに関する設問  
体調不良による休暇日数確認  
相談事項

## ハイブリッドワーク環境下での 運動習慣定着への取り組み

テレワーク下での体調管理を目的とした全社員参加型の運動習慣定着イベントやアスリート社員によるオンラインワークアウトも実施。  
東京都スポーツ推進企業の認定も取得

### ウォーキングイベント

NI+Cグループ ウォーキングイベント2023Autumn 開催します！

大好評だったウォーキングイベント2023Springに引き続き、運動不足解消・運動継続的な取り組みとして、NI+Cグループ会社全員参加の歩数アプリを活用したイベント第三弾「NI+Cグループ ウォーキングイベント2023Autumn」を実施します。今回も上位入賞チームには賞品（NI+C Pointを予定）があります。前回参加できなかった方も、是非みなさん積極的にご参加ください！

- ・ イベント期間 : 10月18日～12月8日
- ・ 利用アプリ : 「aruku& (あるくと) for オフィス」

期間中、参加メンバーの目標歩数（5,000歩/日）達成率を総対抗戦としてランキングを競う形式です。イベント終了後、団体戦、個人戦の表彰を行います！

団体戦（各社共通）【予定】	※その他個人表彰も企画中です！	
目標歩数達成率が高い上位階層に対し、NI+CPointを付与します！	（同等の場合は上限5000歩までの順位付け）	
1位	NI+C Point 5,000p	（1人あたり）
2位	NI+C Point 3,000p	（1人あたり）
3位	NI+C Point 1,000p	（1人あたり）

aruku& for オフィスアプリは、会社携帯ではなく個人携帯にダウンロードください。  
（個人携帯のセキュリティ事項防止のため）



# テレワーク環境下で明らかになった課題と取り組み

## 従業員エンゲージメント調査から見られた新たな課題



社員の健康管理  
(勤務時間)



さらなる多様な働き方



部門間の  
コミュニケーション  
と働きがい



## 「勤務間インターバル」の導入

テレワークでの社員の生活時間や睡眠時間を確保のため、  
終業時刻から翌日の始業時刻までに11時間以上の間隔  
を設定

### 「勤務間インターバル宣言」

日本情報通信株式会社  
代表取締役社長執行役員 桜井伝治



NHC  
Nippon Information  
and Communication

代表取締役社長執行役員 桜井伝治  
桜井伝治

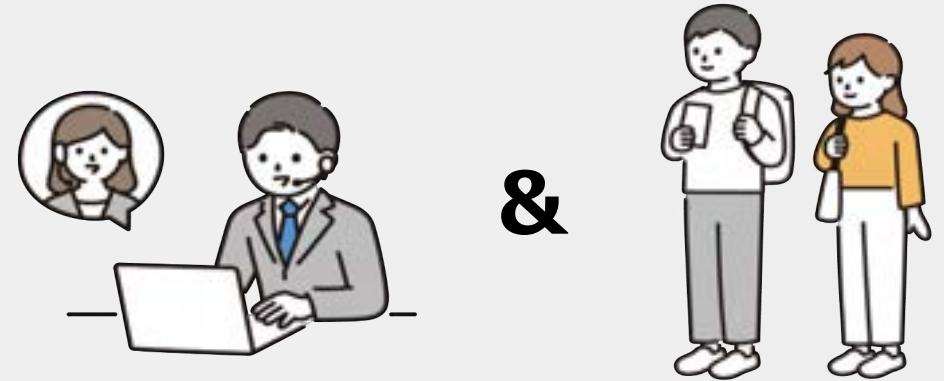
日本情報通信株式会社は「ハビネス経営」を掲げ、企業価値の源泉は人的資本であるという考えのもと、リモートワークやフレックスタイム制の導入により、働きやすい環境づくりや健康経営に力を入れています。私たちは「社員の幸せ、お客様の幸せ、社会の幸せ」を目標に、事業展開をしてきました。従業員一人ひとりが仕事と私生活の両方で充実し、幸せを感じられることが、会社全体の生産性向上と創造的なイノベーションを生む糧料であると確信しています。

勤務間インターバルにより、従業員が十分な休息・睡眠を確保し、心身の健康を守り、業務の質を高め、より働きやすく働きがいのある職場環境が実現できると考えます。

弊社およびNHCグループ各社（エヌアイシー・ソフト、エヌアイシー・ネットシステム、エヌアイシー・パートナーズ）では、勤務間インターバルの取り組みにより、社員のワークインライフの実現、ウェルビーイングの向上、エンゲージメントの強化を目指すとともに、エネルギー溢れる職場を維持し、持続可能な成長と社会貢献に努めてまいります。

## ワーケーション&ブレジャーの利用促進

出張等の機会および年休などを活用し、テレワークで仕事  
しながら余暇を楽しむ過ごし方を促進



ビジネス

レジャー

平均年休取得日数  
18.5日/年

## シン・サンクスポイント制度の活用

テレワーク環境下でも対面と気軽に感謝のメッセージを相手に伝える仕組みを導入。まわりの社員がどういった行いで感謝されているか見える化。感謝する側にもポイントを付与し、ありがとうを伝える風土を醸成。

いいね 👍 を広めよう



## NI + C Group Family Day

日頃からNI+Cの社員を支えてくださるご家族・ご友人への「感謝の気持ち」を伝えることをテーマに開催しているイベント。会社や仕事、そして仲間たちに対する理解や親しみを深めることで、「社員が心身ともに健康でいきいきと働ける職場環境の推進」や「Well-Beingの促進」を目的としています



# 部門間のコミュニケーションと働きがい

## テレワーク！（毎月実施）

テレワーク下での部門間のコミュニケーション活性化

38回実施  
のべ884名が参加



## NI+C Group Night（毎月実施）

テーマごとオフィス内でクラフトビールを飲みながら交流を実施

19回実施  
のべ807名が参加



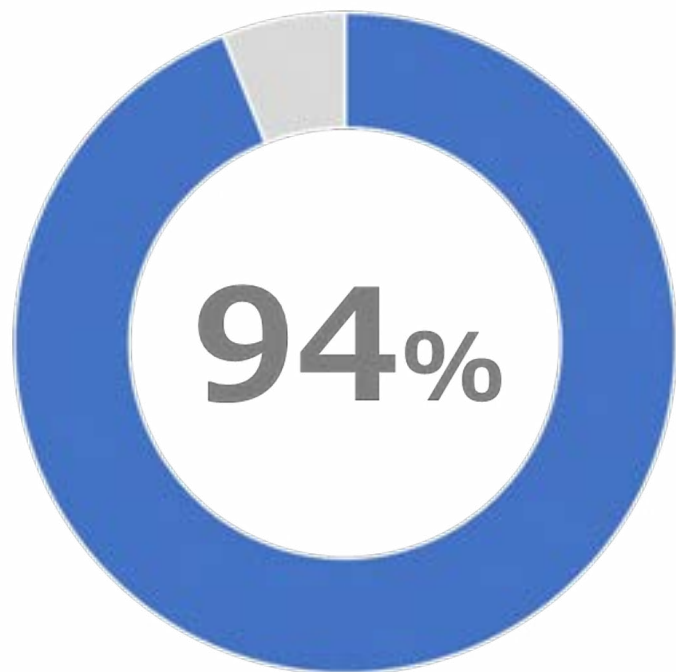
## VRを利用した経営会議

よりリアルに近い臨場感、連帯感のためにVRを活用



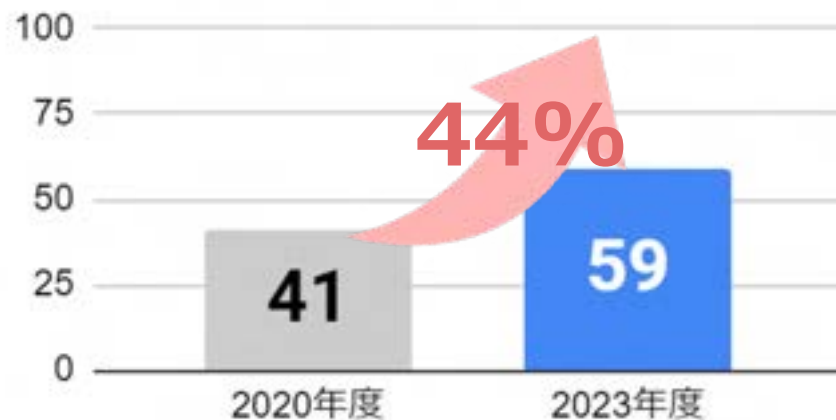


# 取り組みの効果・成果 ～社員エンゲージメント調査より～



フレックス、リモートワーク等を利用し、自律的に働くことは、社員のエンゲージメント向上に寄与すると思うと考える社員の割合

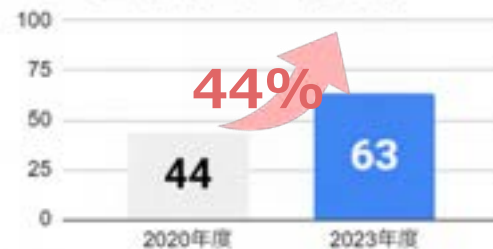
## エンゲージメント



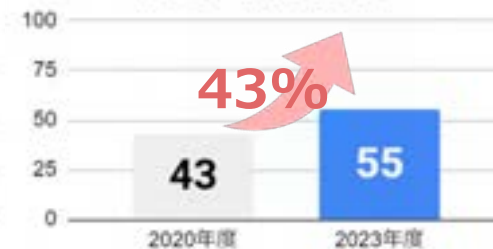
## コラボレーション



## コミュニケーション



## 成長・能力開発



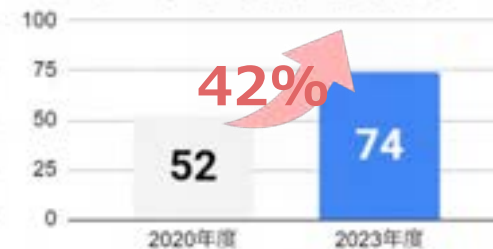
## 安全性



## リーダーシップに対する信頼

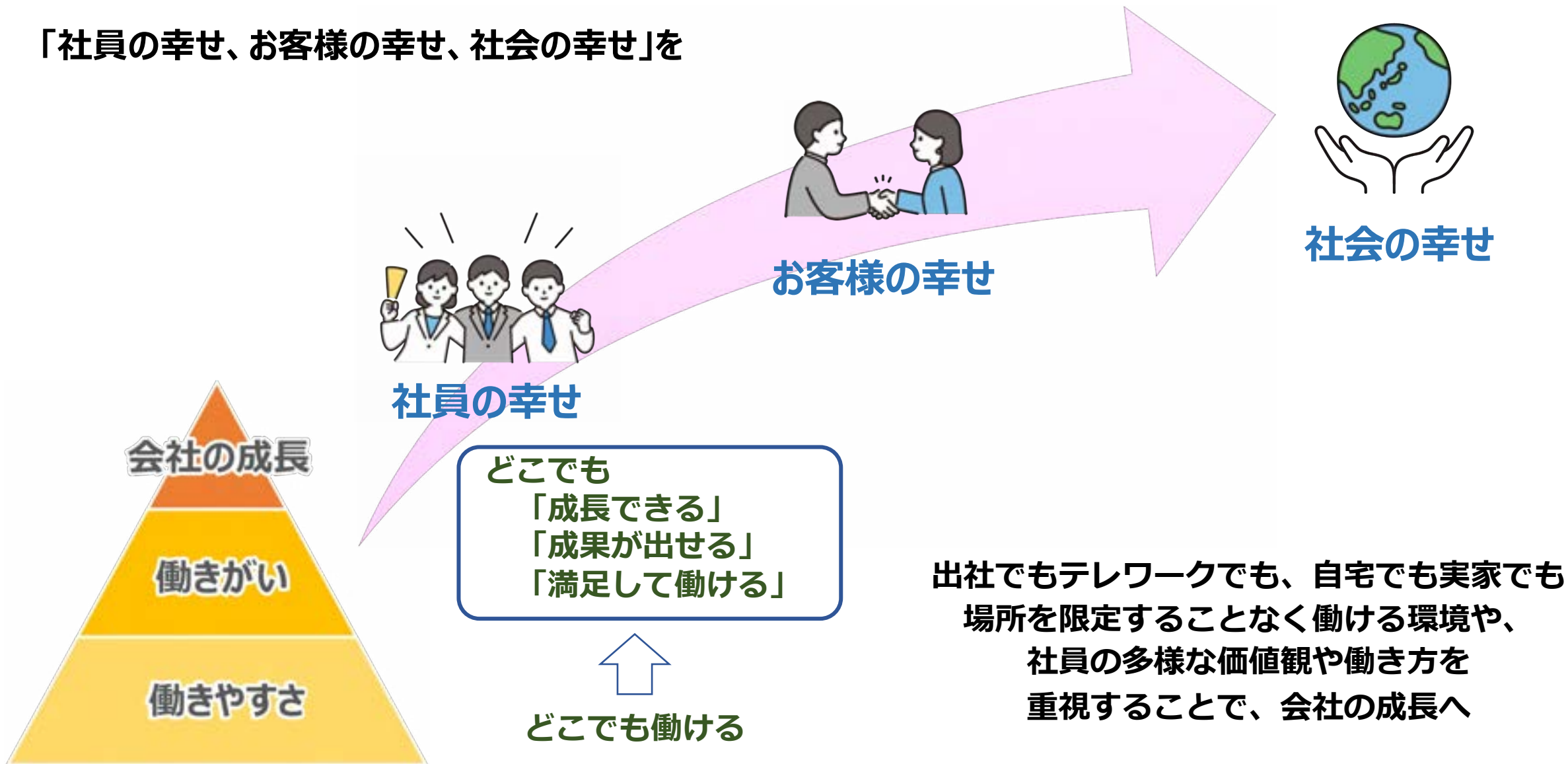


## ワークライフバランス



# ハイブリッドワークスタイルで「ハピネス経営」のさらなる推進へ

「社員の幸せ、お客様の幸せ、社会の幸せ」を



会社の成長

働きがい

働きやすさ

社員の幸せ

お客様の幸せ

社会の幸せ

どこでも  
「成長できる」  
「成果が出せる」  
「満足して働ける」

どこでも働ける

出社でもテレワークでも、自宅でも実家でも  
場所を限定することなく働ける環境や、  
社員の多様な価値観や働き方を  
重視することで、会社の成長へ

# おもひをITでカタチに

NI + Cは今までにないモノでも、  
お客様のおもひ、私たちのおもひをITでカタチにします





事例紹介  
case study



実践部門 優秀賞

東洋通信工業株式会社



中小企業でもできた  
オフィス・働き方改革の実践による  
社員モチベーションと生産性の向上

～自由と未来を創造するオフィス～

Liberty & Creation Office

**TTK** 東洋通信工業株式会社



# ● 会社概要と企業理念

会社名	東洋通信工業株式会社
本社所在地	東京都新宿区新宿6-25-7
設立	1960年3月10日
代表者	代表取締役社長 六車 徹
従業員数	150名（2024年4月時点）
売上高	50億円（2024年3月期）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ L&amp;C オフィス改革ソリューション</li><li>・ 映像・業種・業務ソリューション</li><li>・ データセンター・クラウドサービス</li><li>・ ICT基盤構築ソリューション</li><li>・ ICT保守・運用サービスソリューション</li></ul>
事業所	大阪支店、物流センター、札幌営業所
保守拠点	協力会社約120社150拠点

## 企業理念

社員と社員の家族の幸福を追求し、  
経済的安定の継続性と心の安らぎを実現します



# ● 社内美化から始まった当社オフィス・働き方改革の実践

働き方改革検討／美化運動

働き方改革の実行／ペーパーレス、フリーアドレスの導入、個人からチームワーキング



Before

After



Liberty & Creation Office  
 ~自由と未来を創造するオフィス~  
 本社オープン  
 2014年11月  
 L&Cオフィス  
 本社オープン

2015年4月  
 L&Cオフィス  
 全社完了

- ・大阪支店
- ・本社4F
- ・運用定着と改善
- ・導入効果測定

- ・ペーパーレス運用
- ・フリーアドレス化
- ・個人からチームワーキング

2014年1月  
 ワークスタイル  
 改革宣言

- ・当社のありたい姿 行動改革
- ・目的の明確化
- ・具体的実現手段
- ・新オフィスコンセプト確立

2013年4月  
 社内美化運動  
 スタート

- ・椅子の購入
- ・ノートPC導入
- ・書類削減目標値設定
- ・活動推進巡回

2012年4月  
 働き方改革  
 検討スタート

- ・社内美化検討
- ・ペーパーレス化検討



オフィス美化



ペーパーレス



No.1  
 2014年1月  
 ワークスタイル  
 改革宣言

2016年4月  
 営業プロセス  
 改革PJ発足

- ・営業工数調査・分析

2019年4月  
 テレワーク運用検討  
 スタート

- ・制度改革PJ発足
- ・組織エンゲージメント調査



当社オフィス見学

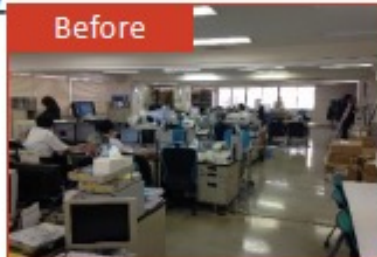
3,200社  
 5,300名

2024年8月現在

ペーパーレス、フリーアドレスの導入効果

キャビネット ロッカー・ゴミ箱	プリンタ コピー機台数	支店本社 統合面積	ミーティン グ 会議室面積
80% OFF	75% OFF	23% OFF	100% UP

※ミーティングエリアやリフレッシュエリアの新設



Before



After



# ● 新型コロナを経て進化した当社の働き方 ABWの実践

働き方改革検討／美化運動

ペーパーレス、フリーアドレス導入

コロナ対策

NewNormal時代へ向けて

## 《Activity Based Working》

仕事内容に合わせて働く場所や家具などを選ぶ働き方で自己裁量を最大化しワーカー自らが生産性向上に努める

～自由と未来を創出すたオフィス～  
Liberty & Creation Office

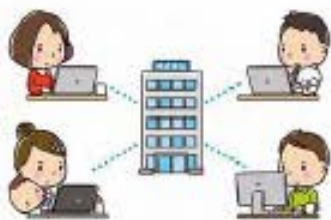


-本社オープン

2014年11月

L&Cオフィス  
本社オープン

- ・ペーパーレス運用
- ・フリーアドレス化
- ・個人からチームワーキング
- ・行動改革



2019年4月

テレワーク運用  
検討スタート

- ・制度改革PJ発足
- ・組織エンゲージメント調査

2020年2月

テレワーク運用

- ・社員を守る
- ・コロナ対策

2020年4月

緊急事態宣言

2020年6月

テレワーク推進  
ガイドライン1

- ・BCP対策
- ・生産性向上

2023年6月

コロナ5類移行

2023年6月

テレワーク推進  
ガイドライン2

- ・ワーク・ライフ・バランス
- ・BCP対策
- ・生産性向上

2023年7月  
特例テレワーク  
の運用

- ・子供の長期休み  
などへの対応

2024年7月  
ワーケーション  
の実施

- ・研修を兼ねた遠隔地での  
テレワーク活用



当社オフィシャルパートナー「北海道東川町」にて、社長と若手社員によるワーケーション研修の実施



WEB会議を商談  
に本格的な活用



感染症対策パネル



AIサーマルカメラ

# ● 定量効果 生産性向上と就業環境の変化

## 生産性向上

2011年 → 2022年

2011年度比10%UP

従業員一人当たりの  
売上

100%

110%

2011年度比3.6倍

従業員一人当たりの  
営業利益

100%

362%

GOOD

★オフィスリニューアル後も  
コロナ/半導体需給ショックを乗り越え、  
順調に生産性向上を継続中！

## 社員モチベーション向上

オフィスリニューアル前

2013年 → 2020年 → 2022年

社員一人当たり  
平均月残業時間

20.9H

9.3H

8.3H

→リニューアル前より60%ダウン

GOOD

有給取得率

22.7%

50.8%

69.8%

→リニューアル前の3.1倍

GOOD

女性社員数比率

10人  
9%

24人  
17%

27人  
19%

→リニューアル前より2.7倍

GOOD

離職率

8.2%

7.7%

6.1%

→リニューアル前の2.1pダウン

GOOD

※令和4年離職率(パートを除く)11.8% ~ 厚労省雇用動向調査より ~

# ● 振り返り 成功要因と苦勞した点

環境面

- ✓ オフィス改革による人財採用活性化と社員モチベーションアップ
- ✓ フリーアドレスによる上下左右間のコミュニケーションアップ

運用面

- ✓ ペーパーレス化によるスムーズなテレワークへの移行

施策面

- ✓ 自立型人財育成へ向けた施策推進
- ✓ 女性活躍へ向けた施策推進



苦勞  
した点

- ✓ オフィス改革、ペーパーレス化に向けた**社内の意識統一**



# 東京都「テレワークを活用した人材戦略ブック」掲載



## ペーパーレス&フリーアドレスと併行し改革を包括的に推進 働き方の自由度を高め、多様な人材の活躍を後押し

### 1 始まりは美化運動から。 テレワークを見据えたオフィス改革

当社は、昭和55年3月創業(4期年)以来、ネットワークとITシステムの設計構築から工事、保守を中心とした事業を営んでまいりました。近年は、新たな事業の柱としてオフィスリニューアルに向けたコンサルから設計構築、更にM&Oを活用した働き方改革そのものを包括的に支援する「L&O Office」事業に力を入れています。L&Oとは Liberty と Creationの略文字で、「自由と未来を創造するオフィス」として自他両方の成長を促す環境や実績にもとづく企業は、業界や企業規模問わず高い評判が伸びています。他社は今から10年前の平成14年に開始した美化運動でした。キャビネットが窓の光を通り、書類の山で満足に打ち合わせもできない状態で暗いオフィスからの脱却を図るため、平成20年11月にフリーアドレスとペーパーレス化を可能にした「L&O Office」をオープンすることができました。当時からペーパーレス化をほぼテレワークによる働き方を視野に入れ、ABW(※)の実践に取り組みました。L&O Officeは社員の働きが場所を問わずにアクセスできるようにしました。また、フリーアドレスの導入でチームコミュニケーションが活性化されたことで迅速な意思決定も可能



となり、企業価値の創造にも繋がっている事を実感しています。L&O事業が成長した結果、その後起こるコロナ禍による企業ダメージを十分補うことができました。加えて令和5年度の業績は設立から2年目の目標を越すことができ、たとえ中小企業であっても、やり方次第で確実に生産性を高められることを証明できました。そんな取り組みにご興味をいだいたお客様は当社オフィス見学は現在3,200社、5,300名を超え、多くのお客様の課題解決に向けてご定評いただいております。

Photo: Shutterstock 画像: Shutterstock 画像: Shutterstock 画像: Shutterstock

### 2 社員一人ひとりの暮らしの充実が、働きがいと会社の自力を高める

当社がテレワークを導入したのは、令和2年2月と、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令された2か月後でしたが、以前より生産性向上の観点で実践実験を重ねてきたこともあり、両年の本格導入に踏み切ることができました。当時従業員やその

家族の命と健康を守りつつ、事業を継続するBCPの観点に働きを置いていたことが、令和5年度からはワーク・ライフ・バランスの充実も高いの1つとなりました。重要には、組織の多様な価値観があります。L&O Officeが企業さまざまなニーズに応えるには、一人ひとりが自身のワークスタイルを確立することが求められ、高い幸福度をもって働けることこそお客様への提案力の向上にも繋がります。特に近年は、女性の採用に力を入れています。女性が活躍できる環境を整えることは、ひいては顧客や従業員、外国人などの働きやすさの向上にも繋がります。労働人口の減少で優秀な人材の確保競争が激化する中、働き方の自由度を高めることが採用力に直結すると当社では考えられています。



### 3 外にいてもオフィスと変わらない環境を整備、オリジナルツールの開発も

現在は営業やITやオフィスなどの業務に従事している社員を対象に、事前申請の上でテレワークを認めています。生産性を確保できる仕組みの検証も、今も継続して行っているのです。自宅やカフェでも滞りなく仕事を進められるように、ペーパーレスなどのオフィス環境はもたらせること、ハード面でのITやネットワークからのアクセスに耐えうるだけのネットワーク構築を整えました。Zoomやビジネスチャットなどのデジタルツールも、できるだけ知識を習得し導入に取り入れるようにしています。社内外を問わず、勤務場所の生産性を高めることから、行先や勤務場所を共有するアプリケーションを開発し開発し、遠隔を取りたい相手の状況に応じてどこでもスマートフォンから確認でき、簡単な伝言も残せるようになりました。



また、円滑なテレワークの実施には、目ごからの上下左右のコミュニケーションが必要不可欠です。フリーアドレスでは、役員と新入社員、60歳を超えた社員が同じテーブルで仕事をすることも日常的にあります。オンライン越しでも結果的に顔を合わせて挨拶し、仕事を切り上げるときは一声かける。そうした何気ない会話ややり取りを自然と行える関係が働く事で役員も含めた社員相互の間でも言える心理的安心感が醸成されます。その上で、自律可能な人材を育成し続ける事こそテレワークの実施に必要不可欠だと考えています。

### 4 女性社員数が3.4倍に、子どもの夏休み中の利用も迅速に対応

導入から4年が経過し、テレワークの可塑性に手ごたえを感じているところです。令和5年の女性社員数は平成28年のオフィス改革前と比べて3.4倍になり、新たな女性管理職の登用にも成功しました。子育て真っ最中の社員や、介護との選択を迫られた社員も、テレワークの活用により職場を脱退することができました。子どもの夏休み中の利用も、社員が希望した翌日には適用可能となりました。他より、テレワークを始めたから売上も上がることなく、業績を伸ばしていることが自信に繋がっています。当社のテレワークを始める際の働き方改革はまだ途中段階であると考えています。今後も更なるオフィスの進化、デジタルトランスフォーメーションの推進ならびに社内制度の充実を通して、社員の新規採用を支援し、共創を促すワークスタイルの実現を目指し、一歩一歩進んでいきたいと考えています。



PRECEO leader  
代表取締役社長 六車 徹  
当社の経営理念は、「社員と社員の家族の幸福の追求」を掲げています。社員一人ひとりが幸せに暮らせるように、会社は環境を整え支援する。働きに誇りを持ち、社員がエンゲージメントを持って働くことでお客様に最高の価値を提供したい。社員一人ひとりが活躍の場を確保し、活躍の場を確保し、ひいては人の質が上がる持続可能な高い企業価値と考えるとしています。

TELEWORK 営業部の声  
代表取締役 竹村 知奈美  
代表取締役 船山 貴子  
子どもが夏休み中や仕事に都合がよいとき、以前は長時間を過ごす必要がなかった。テレワークは柔軟性があって、フレキシブルに働ける。通勤の負担も減って、家族時間も確保しています。テレワークができるのはペーパーレス化に加え、社員同士が気軽に仕事や人とつながりやすくなったことだと思います。リモートミーティングのバージョンアップが大事だと思います。

## 11月公開

下記の箇所で公開・配架されております。

東京都テレワークポータルサイト  
<https://portal-tokyo-tele.metro.tokyo.lg.jp/book/>

冊子は、下記の施設で配架される予定です。

東京しごとセンター（飯田橋、多摩）  
<https://www.tokyoshigoto.jp/>  
<https://www.tokyoshigoto.jp/tama/>

東京働き方改革推進支援センター  
<https://hatarakikatakaikaku.mhlw.go.jp/consultation/tokyo/>

東京テレワーク推進センター（飯田橋）  
<https://tokyo-telework.metro.tokyo.lg.jp/>

その他、都内の商工会・商工会議所、ハローワーク



**\*\*TTKグループ長期経営ビジョン\*\***

**TTK**

**～挑戦！をDNAに～**



事例紹介

case study



実践部門 奨励賞

株式会社Colors





# 株式会社Colors

オンラインアシスタントサービス

**タスカル**  
T A S K A R



# 角前 壽一

株式会社Colors  
代表取締役CEO



1982年 大阪府吹田市出身。

2005年 信州大学理学部卒業。広告制作・商業店舗プロデュース会社へ就職。

2013年 **株式会社Colorsを創業**。中小企業向けのWeb戦略コンサルティングを展開。

2018年 次女の先天性心疾患が見つかり、地元・大阪に移住。この件で**社内体制をフルリモート化**。

2019年 この働き方を他の中小企業にも広げるべくオンラインアシスタントサービス「**タスカル**」をリリース。

# 株式会社Colorsの歴史

- |         |                           |
|---------|---------------------------|
| 2013年8月 | 創業<br>5年間はコンサル事業を数名で運用    |
| 2018年   | テレワーク体制に変更                |
| 2019年2月 | 完全オンライン事務代行サービス「タスカル」開始   |
| 現在      | 利用企業数：700社以上、スタッフ数：400名以上 |

# ビジョン

完全テレワークで事業を行い

「日本の働くを変える」

クライアント事業の  
テレワーク化支援

テレワーク  
対応スタッフの  
就労機会創出



# 完全テレワーク体制の

# 成功ポイント

✔ 完全テレワークで事業をやり切る と決める

✔ システムの工夫×コミュニケーションの工夫

で生産性を上げる

point!!



# タスカルの特徴

## 完全テレワーク体制

- ✔ サービス開始以降、スタッフ全員が自宅から完全テレワークで業務を遂行
- ✔ オフィスなし      ✔ 直接会う機会なし

- 日々の課題を分析し、システムやツールを改善
- 業務効率化を実現しつつ、完全オンラインでの業務体制を確立
- ノウハウを整理し、タスカル利用企業へ部分的に提供
- 自社と顧客の双方でテレワーク推進をサポート

### 価値提供と収益化

- 自社での完全テレワーク化の知見をお客様へも広く提供
- サービスご利用企業様のテレワーク推進と、それによる事業成長をサポート

## 具体的施策①

## システムの工夫



約**1000**チャンネル以上  
約**50**ワークフロー



約**1000**ページ



毎月約**8000**タスク自動化

独自稼働管理システム

**700社/400名**以上の  
日次稼働集計

## 具体的施策② コミュニケーションの工夫

### 入社時

- 社長面談とサポートプログラムの整備
- Notion自己紹介ページ

### 定期開催

- 1on1
- タッフアンケート
- オンラインでの交流会や雑談お茶会

### slack を利用して...

- 「ステータス機能」でリアルタイムな業務状況の共有
- 相談から雑談まで自由なチャンネル「おしゃべり部屋」



おさらい

完全テレワーク体制の

成功ポイント

タスカル  
T A S K A R

✔ 完全テレワークで事業をやり切る と決める

✔ システムの工夫×コミュニケーションの工夫  
で生産性を上げる

point!!

オンラインアシスタントサービス

**タスカル**

T A S K A R



<https://taskar.online/>





事例紹介

case study



実践部門 奨励賞

ネクスキヤット株式会社



# 人口減少社会の課題を 「幸せに働く」で解決する



# はじめまして。 ネクスキヤットです。

---

この度は奨励賞という名誉ある賞を賜り  
誠にありがとうございます。

僭越ながら弊社の取り組みを共有させていただきます。  
何か一つでも参考になれば幸いです。



# 会社概要



# 会社紹介



2020年2月25日 設立

デザイン経営推進事業、DX推進事業

創業の想い「誰もが幸せに働ける組織は作れるのだろうか」

経営理念「幸せに働く。そしてみんなをずっと幸せにする」

東京都豊島区池袋2-36-1INFINITY IKEBUKURO 8F-46号室

## グループ会社

Embody Holdings株式会社

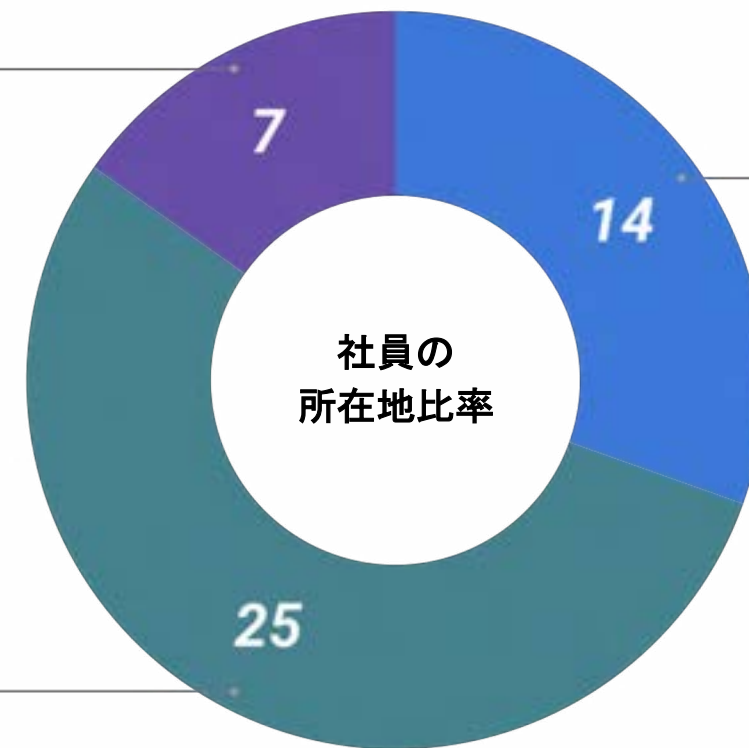
株式会社Tree to Green

株式会社木曾谷Kousaku.

株式会社ときわ地域ケア

海外

15.2%



東京  
30.4%

地方

54.3%

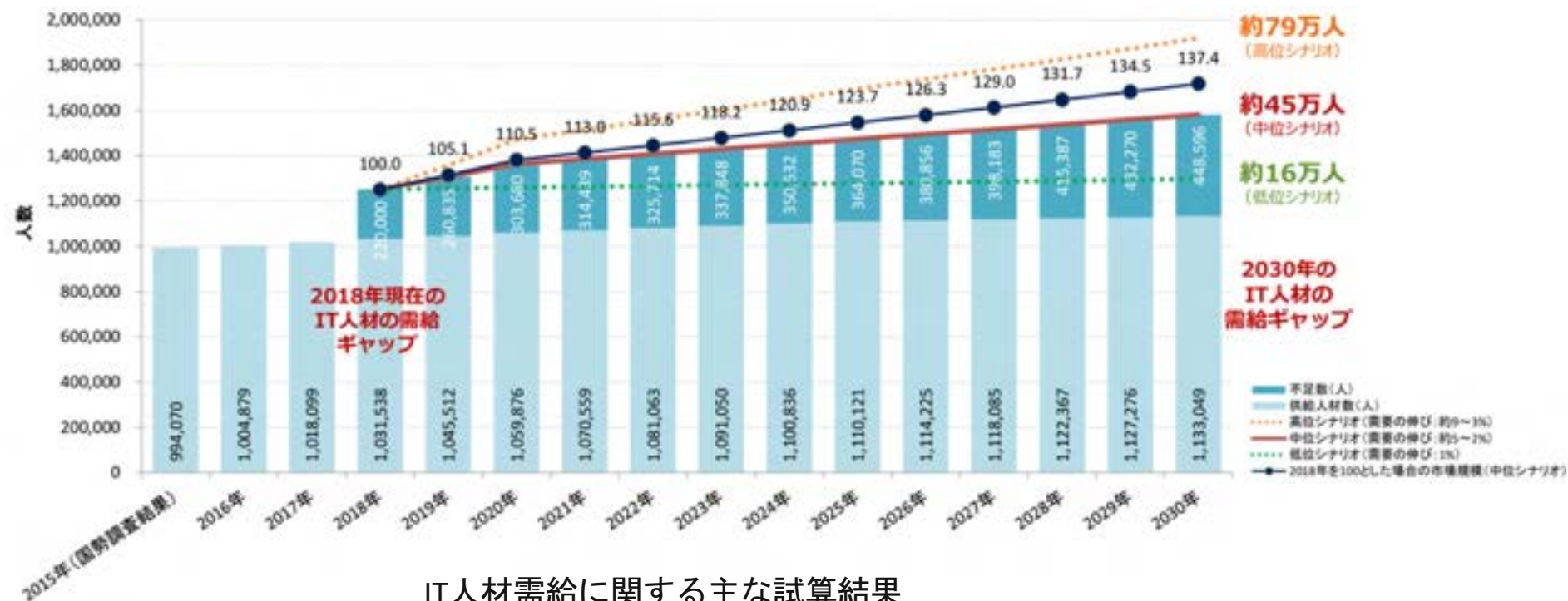


# 「働く」へのソリューション



# 「働く」の日本の課題

高度IT人材は最大**79万人**不足  
2030年には**10人に1人が80歳以上**に



IT人材需給に関する主な試算結果

引用：経済産業省 平成30年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（IT人材等育成支援のための調査分析事業）IT人材需給に関する調査

テレワークの働き方を極限まで高める。  
「三方よしな働き方」を実現

# 働き手へのソリューション



海外在住で時差がある



育児や介護のため  
勤務の制限がある



地方で家業を営みながら  
スポットで働きたい

これまで活用が難しいとされてきた環境・状態にいる人でも、  
**多様なワークライフバランスを実現できる柔軟な働き方**で解決する

# 働き手へのソリューション



**オールリモート**

×



**ウルトラフレックス**

+



**コミュニケーション**

# オールリモート



役員・管理部を含む**全員がフルリモートで勤務**しています。  
オフィスへの出社義務はなく、自宅、コワーキング、会議室  
など好きな場所で働けます。

海外からも働くことができ、現在は中国・ベトナム・タイ・  
イタリア・スペインから働くメンバーもいます。





# ウルトラフレックス



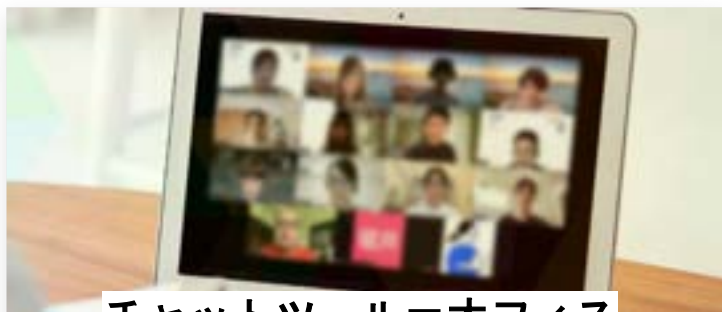
定時もコアタイムがなく、共通の休日也没有せん。さらに  
**毎月の労働時間にバラつきも許容**しています。

多様なライフワーク・ステージにあわせられるので、働くと  
生活の両立が設計しやすい体制になっています。





## 「コミュニケーションの量と質」



**チャットツール=オフィス**  
業務連絡だけにとどまらない  
雑談も推奨の空間



**カフェタイム**  
定期的に雑談やゲームで  
リフレッシュできる



**コンパ**  
個々の価値観と向き合い、  
仲間と高めあう



# 事例

# 家庭も、仕事も。どっちの幸せも実現



## 30代男性 2児の親

小さいお子さんの夜泣きなどによる寝不足も、定時がないので睡眠時間を確保し、業務に支障をきたさず、日中は育児の時間も確保しながら仕事もしっかり行えている。子供の成長を見届けたい。仕事も自分らしく取り組み成長し続けたいを実現。



# 想い描く日常（半農半X）を実現



## 40代男性 2児の親

家族揃って夕食をいただき、定時に子どもの習い事の送迎。地域の人々と一緒に農業にも取り組み、収穫時期には仕事量を調整。

家族、農業、仕事の両立し、自由なU/Iターンを実現。





# 夏は北海道。来月は沖縄へ、旅して働くを実現



## 20代女性

リアルオフィスへの出社がないネクスキヤットでは、作業環境を整えていただければ、どこでも働くことができます。

行きたい場所に自由に足を運びへ、地域それぞれのカルチャーを享受する旅をしながらの仕事を**実現。**





# 働き方とビジネスモデルの連動



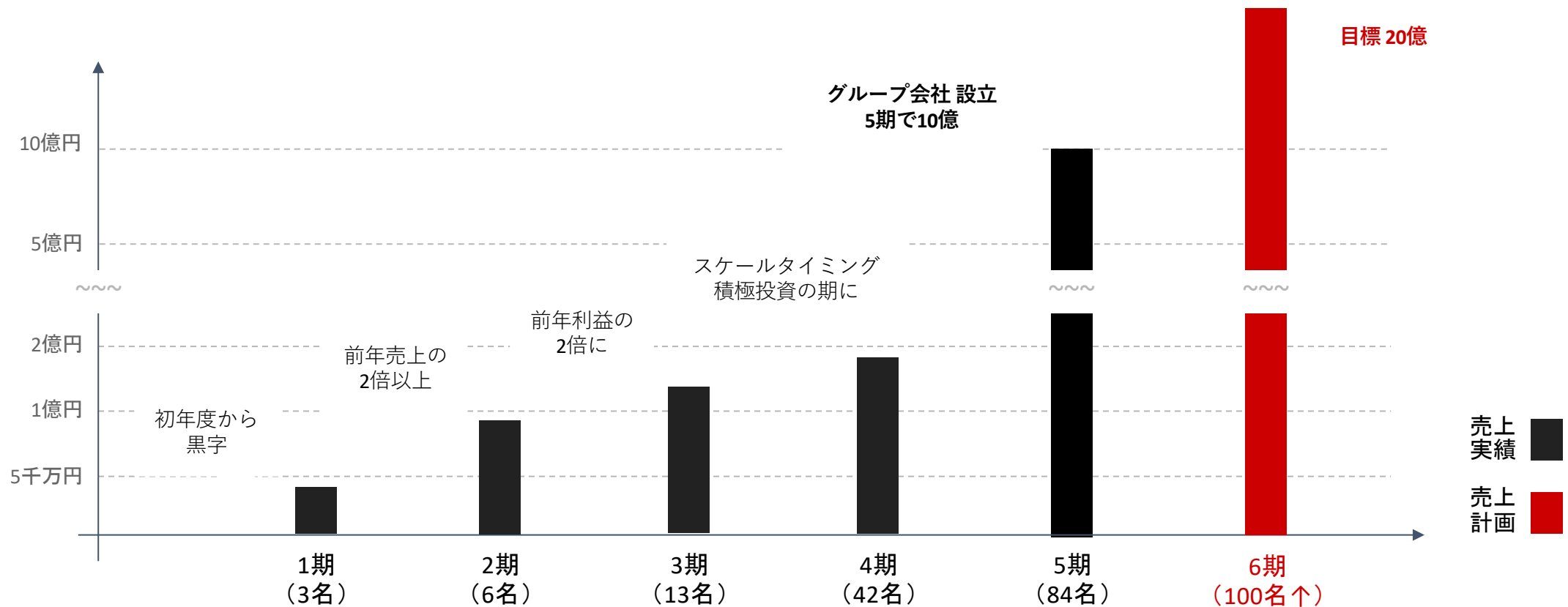
# テレワークの柔軟さから生まれる、リソースの組み合わせ

時短勤務なら働ける人、海外から時差がある人、スポットで制作にあたれる人など色々な人が働けるので、**これまで未活用だった労働力を活用**することができます。

世界中のクリエイターのリソースを結集し、属人的ではなく、様々な細かいリソースを柔軟に組み合わせで対応することが可能に。



創業以来、黒字。5期で売上10億突破。  
自分らしく働けることで生産性が上がり続けて経営にもよし



# 「幸せに働く。」は三方よし

経営・働き手・社会にとって幸せであるように。



経営

生産性の向上

働きやすい会社は心理的安全性が高く「総出力を最大化」することができる



働き手

ワークライフバランスの確立

場所・時間にとらわれず誰もが自分らしく無理なく働くことができる



社会

地方創生に貢献

若手が半農半Xの働き方を実現できることで後継者問題・地方流出など課題解決につながる



Thanks so much for taking the time to join today.



事例紹介

case study



実践部門 特別賞

フジ住宅株式会社





# フジ住宅の テレワーク

2024



# もくじ



会社情報



活用事例 1

モバイルワークによるビジネス革新



活用事例 2

人材活用



テレワーク利用のメリット

# 会社概要

## フジ住宅株式会社の基本情報

項目	内容
商号	フジ住宅株式会社
創業	昭和48年1月22日
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 宮脇宣綱
資本金	48億7,206万円
本社所在地	〒596-8588 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
従業員数	910名（連結1,247名）*パート社員含む
上場取引所	東証プライム市場
関連会社	フジ・アメニティサービス株式会社 雄健建設株式会社

## テレワークの流れ

年 内容

2017 テレワークの本格的な導入開始

2018 テレワーク先駆者百選 総務大臣賞

2020 第21回 テレワーク推進賞 優秀賞

2022 第23回 テレワーク推進賞 優秀賞



テレワーク  
先駆者百選



テレワーク  
推進賞



健康経営銘柄2019  
2年連続3度目の選定

# テレワークについて

フジ住宅のテレワークの目的は  
社員のため 社員の家族のため

フジ住宅にとって一番大切なものは「人」です。

フジ住宅で働く社員であり、

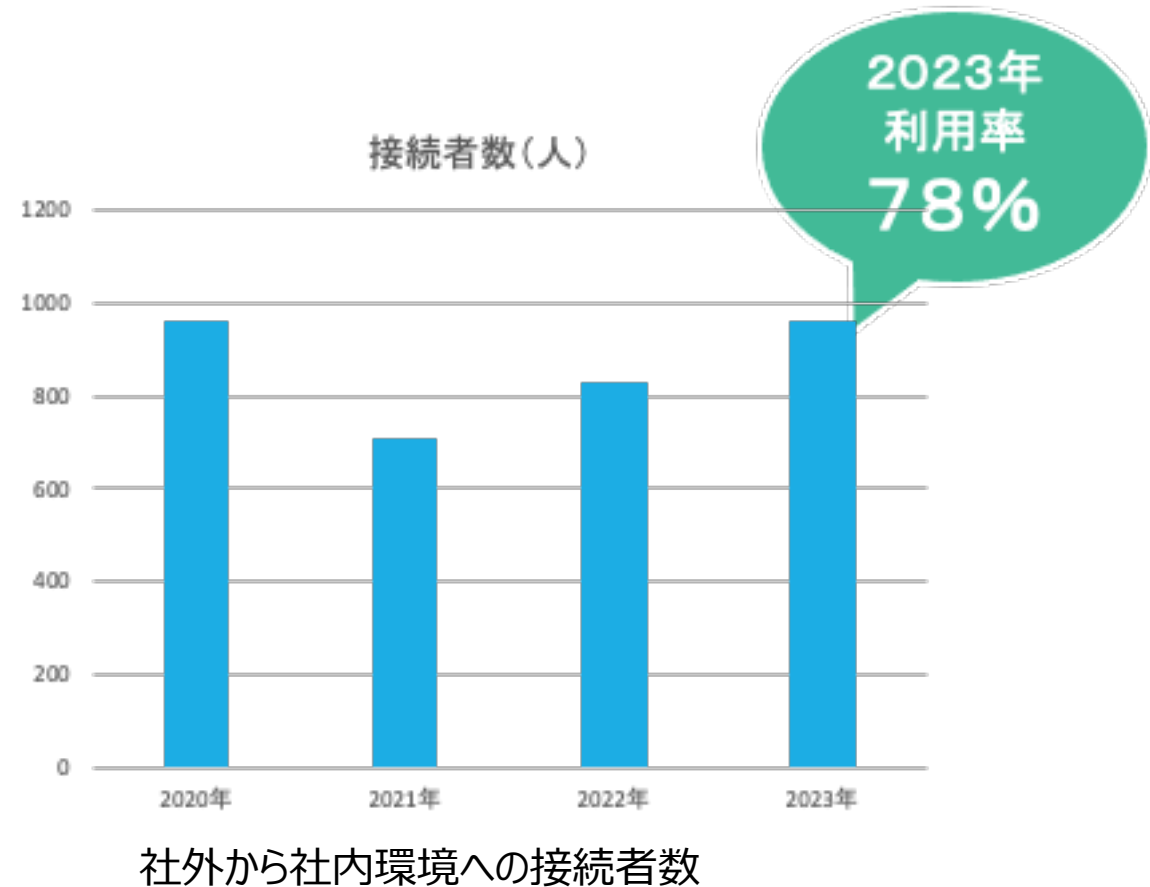
そしてそれを支えてくれる家族です。

当社で働く社員が心身共に健康であり、

仕事に誇り、やりがい、生きがいを持ち、

仕事上もプライベート上も充実した人生を送ることが

大切であると考えております。





# 活用事例 1 : モバイルワークによるビジネス革新

## 住宅流通事業部の活用例

※住宅流通事業部・・・仲介会社様を通じて中古住宅を買取・販売しています。古くなった住まいを再生し新しく不動産流通市場に供給することで、サステナブルな社会に貢献するとともに関西エリアの不動産活性化に寄与しています。



# 協力業者様を巻き込んだIT化

業務フロー



買取査定・買取契約

リノベーション

販売



## リノベーション：施工管理アプリ

施工に必要な情報を工事業者様と共有

- ◆ 工程表
- ◆ 写真・図面
- ◆ 現場情報
- ◆ 検査
- ◆ 受発注

工事業者様

工務店様  
納品業者様  
鍵業者様  
家具レンタル業者様 等



工事現場に行った時でもケータイやPCで  
チェックできます！



フジ住宅の物件担当者

施工に関わる全員と工事の進捗や写真を共有できます。  
コメントや通知も活用しています。

↑ データ連携

## 業務管理システム

買取～販売までを  
1つのシステムでシームレスに管理

- ◆ 社内用・社外用の資料作成  
一元化により2重入力を減らしてワークカット
- ◆ 上長の承認業務  
押印作業が不要に
- ◆ 取引のある司法書士事務所様にも  
同じシステムで業務を依頼



司法書士事務所様

データ連携

## 販売：仲介業者様専用サイト

お取引先の仲介業者様が利用

- ◆ 販売物件を確認出来る
- ◆ 広告申請の申請・資料のDLが出来る



常に最新の物件情報を閲覧できるので、  
他業者さんが既に商談をしていないかチェックしたり  
最新の価格をお客様にすぐにお伝え出来ます。



仲介業者様



# 中古住宅仕入(買取)業務のIT化

現地査定に行った物件はまずは上司に買収の承認をもらう

外出先から最短30分で申請が出来るように

- 査定件数: 全体で平均678.5件/月(1人当たり平均25件/月)
- 査定範囲: 兵庫～奈良



## 業務管理システム

売却希望の物件  
**現地査定**  
現況の確認

提出ボタンを  
クリック

承認を  
クリック

部署で開発した  
物件査定システム



クラウドストレージ  
による写真の共有  
約30～35枚/物件

# 協力業者様を巻き込んだIT化

業務フロー



買取査定・買取契約

リノベーション

販売



## リノベーション：施工管理アプリ

施工に必要な情報を工事業者様と共有

- ◆ 工程表
- ◆ 写真・図面
- ◆ 現場情報
- ◆ 検査
- ◆ 受発注

工事業者様

工務店様  
納品業者様  
鍵業者様  
家具レンタル業者様 等



工事現場に行った時でもケータイやPCで  
チェックできます！



フジ住宅の物件担当者

施工に関わる全員と工事の進捗や写真を共有できます。  
コメントや通知も活用しています。

↑ データ連携

## 業務管理システム

買取～販売までを

1つのシステムでシームレスに管理

- ◆ 社内用・社外用の資料作成  
一元化により2重入力を減らしてワークカット
- ◆ 上長の承認業務  
押印作業が不要に
- ◆ 取引のある司法書士事務所様にも  
同じシステムで業務を依頼



司法書士事務所様

データ連携

## 販売：仲介業者様専用サイト

お取引先の仲介業者様が利用

- ◆ 販売物件を確認出来る
- ◆ 広告申請の申請・資料のDLが出来る



常に最新の物件情報を閲覧できるので、  
他業者さんが既に商談をしていないかチェックしたり  
最新の価格をお客様にすぐにお伝え出来ます。



仲介業者様



## その他にも・・・

### Web会議の活用

- 大規模会議のWeb会議への移行  
年3～4回、約100名が参加する  
工務店様との会議をWeb会議へ移行  
→ 手土産の手配や会場設営が不要に  
移動時間の削減による効率化
- その他社内の勉強会等もWeb会議に移行

### チャットを使用したスケジュール管理

- コミュニケーションツールとしてチャットでスケジュールを管理し、  
外出する社員のスケジュールを共有

### 交通費の経費精算

- 交通系ICカードの支給
- タクシーアプリの導入

## 結果

- 外出する社員が帰社せず業務が出来る
- いつでも誰でもテレワークで業務が出来る
- 業務が効率的に
- 協力業者様とも円滑で漏れなく情報共有



## 活用事例 2 : 人材活用

社員と社員の家族のためのテレワーク活用

# テレワークの活用事例：人材活用

テレワークを導入することで、人材の多様性を活かした働き方を推進しています。

1

## 障がい者支援

遠隔地の身体障がい者の方々が、自分の能力を活かして働くことができるようにサポートしています。

完全在宅勤務の社員3名と週に2日テレワークを活用する社員1名を雇用しています。

2

## 多様な働き方

社員の事情に合わせて、柔軟な働き方を提供しています。



# 障がい者支援

前職ではIT関係の職場で働いていましたが、通勤ラッシュ・労働時間を考慮して転職しました。前職では時間外労働が当たり前でしたが、今は透析の時間を配慮した勤務体系になっています。柔軟な社風に働きやすさを感じています。



神奈川県在住  
システム室

股関節の手術を行ったため通勤のない完全在宅勤務で転職しました。

入社時はシステム室に配属でしたが、大学や前職の経験を生かしたいと希望し、内部監査室に異動しました。

テレワークであればどのような業務が出来るか上司と相談しました。業務に必要な機材（シュレッダー等）も自宅に支給してくれました。完全在宅勤務でも責任のある仕事に挑戦させてもらえることにやりがいを感じています！



山口県在住  
システム室



大分県在住  
内部監査室



大阪府在住  
システム室

前職はオフィス勤務でしたが、呼吸器機能障害があるため、体力に自信がなく実際体調を壊すことも多く、休日は体力温存に努めることも多かったです。

フジ住宅に完全在宅ワーカーとして入社してからは、体調が安定し、休日も充実しています。業務上不明な点等出てきた際は、チャットで直ぐにコミュニケーションを取れたり、直ぐにWeb会議を使った打合せも行っていただけるので、仕事もスムーズに進める事が出来ており、充実して仕事できています。

通勤が出来ない距離ではないのですが、体力面・体調面を考慮して週に2日はテレワークを利用しています。

はじめは新卒でテレワークに不安もありましたが、テレワーク時に質問をしても快く回答いただけたのでごく安心しました。社員のため社員の家族のためになることは取り入れる社風の中で体力面に不安なく自分らしく業務に取り組んでいます！



## 2

## 多様な働き方

社員の事情を勘案して要望があればテレワークが出来る環境になっています。

### 活用例



# テレワーク利用のメリット：利用者の声

## テレワークの良いところを教えてくださいました

移動のストレスや体調面の不安が軽減できる

移動時間が削減できる

役職に関わらずパートでもテレワークが活用できる

家族の体調不良の時に仕事を休まずに一緒にいてあげられる

家庭の事情に応じてすぐに・気軽にテレワークできる

コロナ後も変わらずテレワークが出来る

ルールにとらわれず柔軟に働き方を選択できる

テレワークがあることで体調面などの不安が減り、安心して業務ができる

家にいてくれてうれしいと子供が言ってくれる

子供が少し不調な時に無理して保育園に行かせることがなくなった

テレワークが便利なので電子化に対するモチベーションが上がる

昼休みに家事が出来たり、荷物を受け取ったり家の用事が出来る

# テレワーク利用のメリット：利用による効果 組織健康度調査

活性度・仕事満足度・WEの全項目で例年全国平均より上回る結果となっている

設定項目	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	全国平均値
活性度	2.53	2.53	2.56	2.46	2.26
仕事満足度	3.00	2.96	2.97	2.98	2.60
WE(ワーク・エンゲイジメント)	2.83	2.80	2.84	2.89	2.52

各尺度の理論上の最大値は4.00



社員と社員の家族のためのテレワーク



# 事例紹介

case study



普及貢献/ビジネス創出部門 優秀賞

## 岡崎市







岡崎市  
OKAZAKI CITY

# 岡崎市テレワーク就労支援事業

telework work support project



# OKAZAKI city



## okazaki

総面積：387.20km<sup>2</sup>  
人 口：38万人  
交通網：JR東海道本線  
名鉄名古屋本線  
愛知環状鉄道線



## history

徳川家康公生誕の地  
800年もの長きにわ  
たり三河広域で中心  
的な役割



## Financial Power

財政力指数：1.0(R4)  
製造業や産業を支え  
る人口が財政力を高  
めている



okazaki problem 1

女性の労働力率のM字カーブ

okazaki problem 2

市内事業者の人材不足

okazaki problem 3

人口の減少予測

女性の労働力率がM字カーブ

【要因】

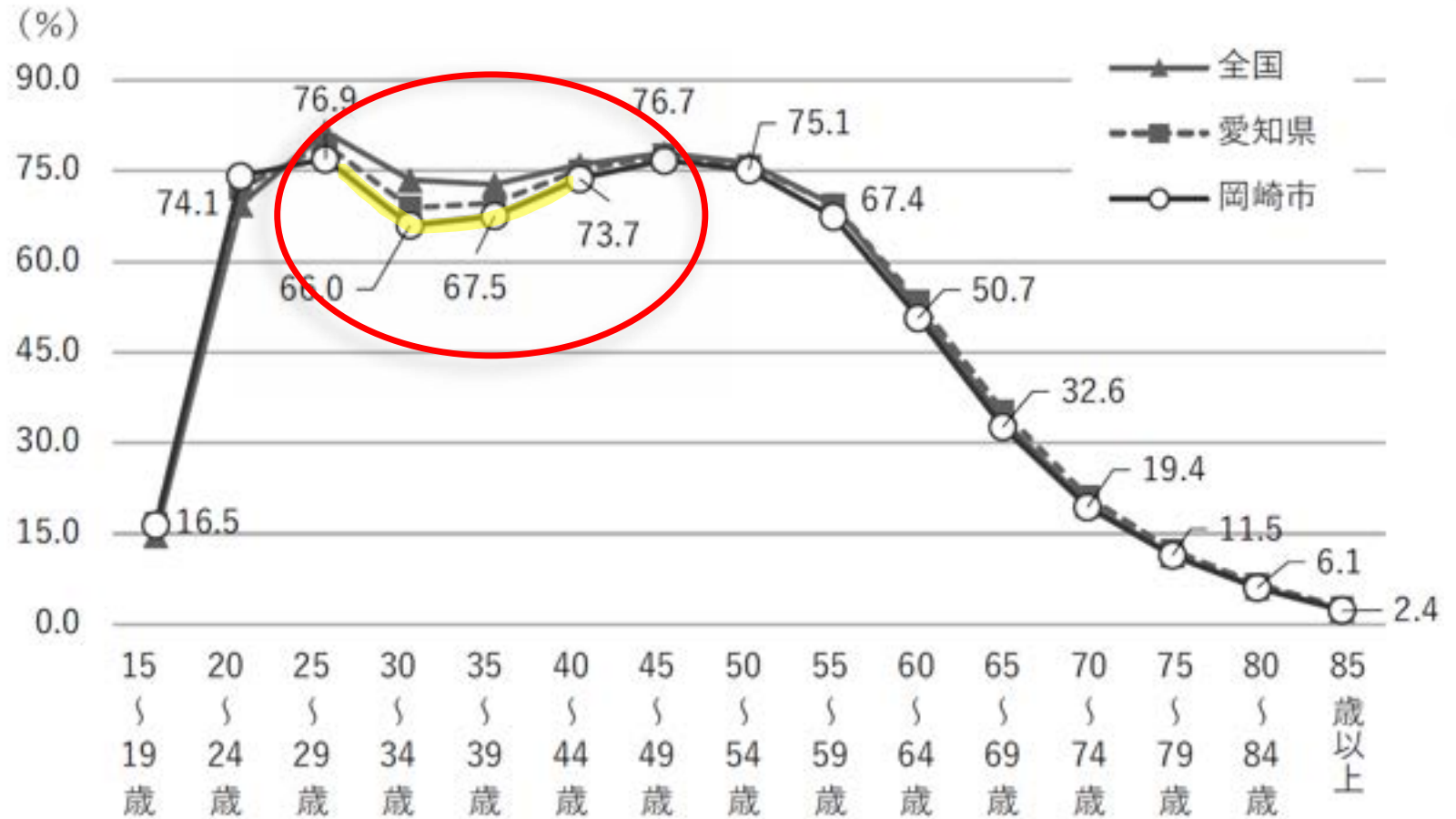
結婚・出産を機に退職

⇒ 日本特有の  
性別役割分担の考え方

⇒ 働き続けられる環境や制度  
が整っていない

⇒ スキルがあっても  
フルタイム勤務が難しい

■ 年齢別の女性の労働力率の比較



資料：国勢調査（平成 27 年）

# 女性の労働力率がM字カーブ

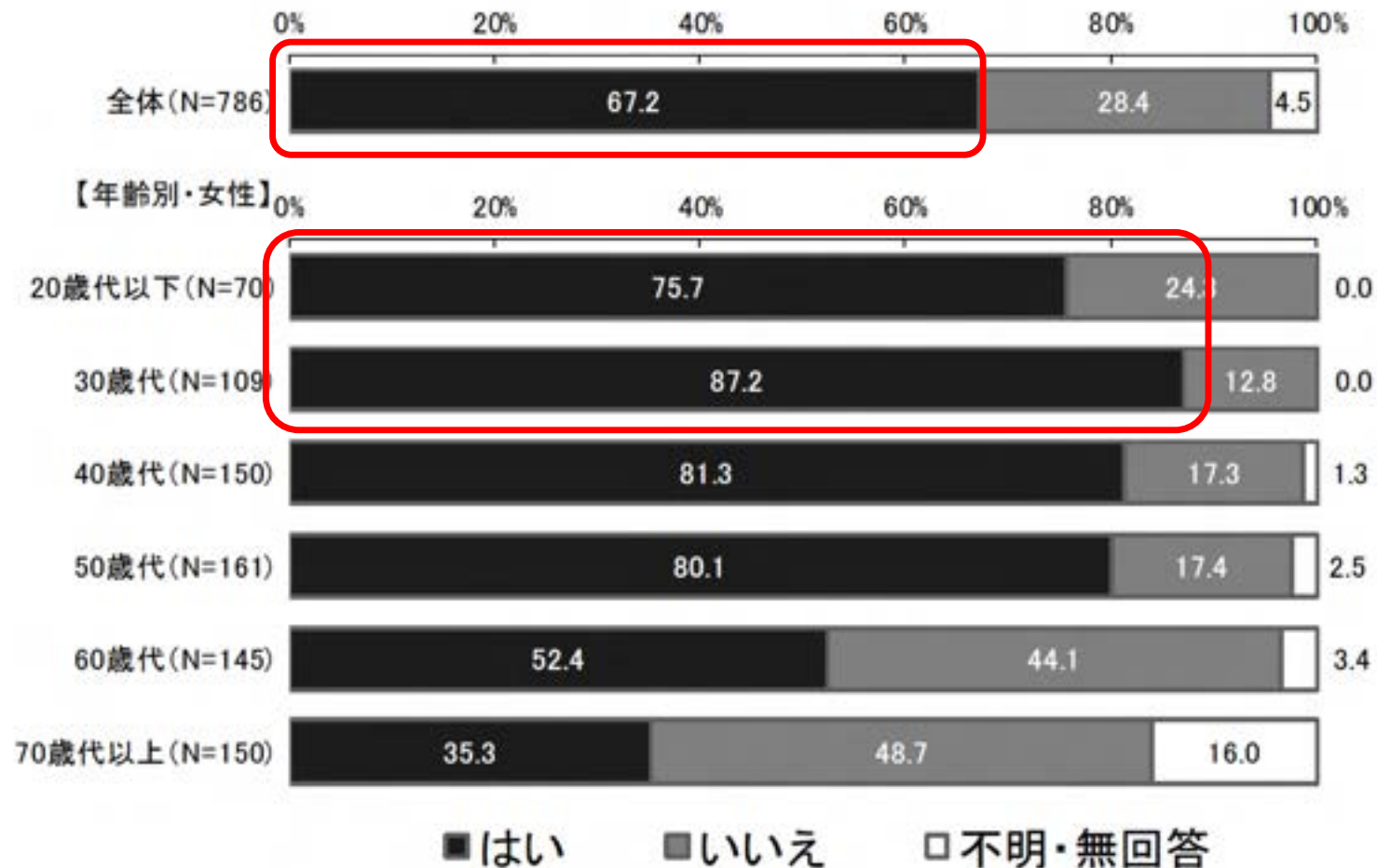
〈今後、働きたい・働き続けたい女性の割合〉

全体 = 67.2%

20歳代以下 = 75.7%

30歳代 = 87.2%

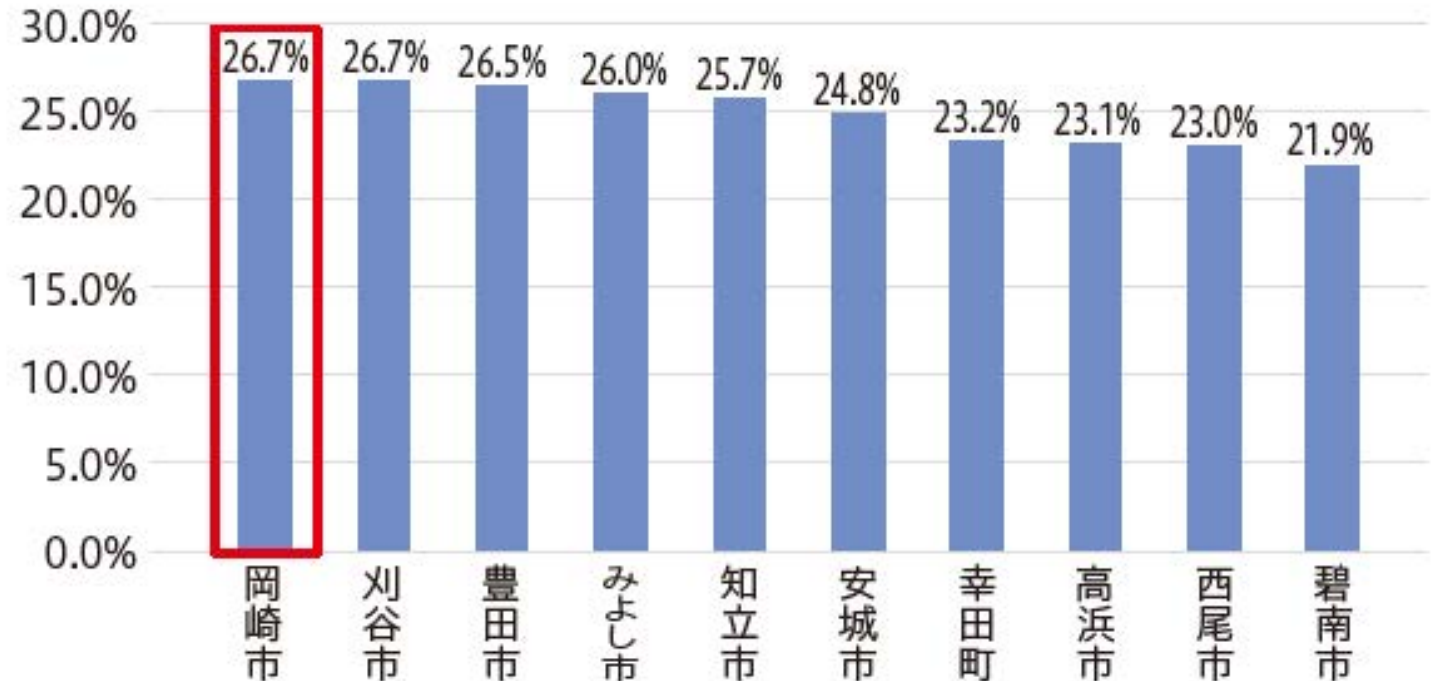
⇒ 就労の意欲はあるが、退職をせざるを得ない状況



## 女性の労働力率がM字カーブ

### ☑ 高い専業主婦率

専業主婦率は西三河の中で最も高くなっています。



西三河等の専業主婦率

### 【要因】

西三河の中でも  
専業主婦率が高い

⇒ **潜在労働力**が働ける**環境**  
を整備していく必要がある

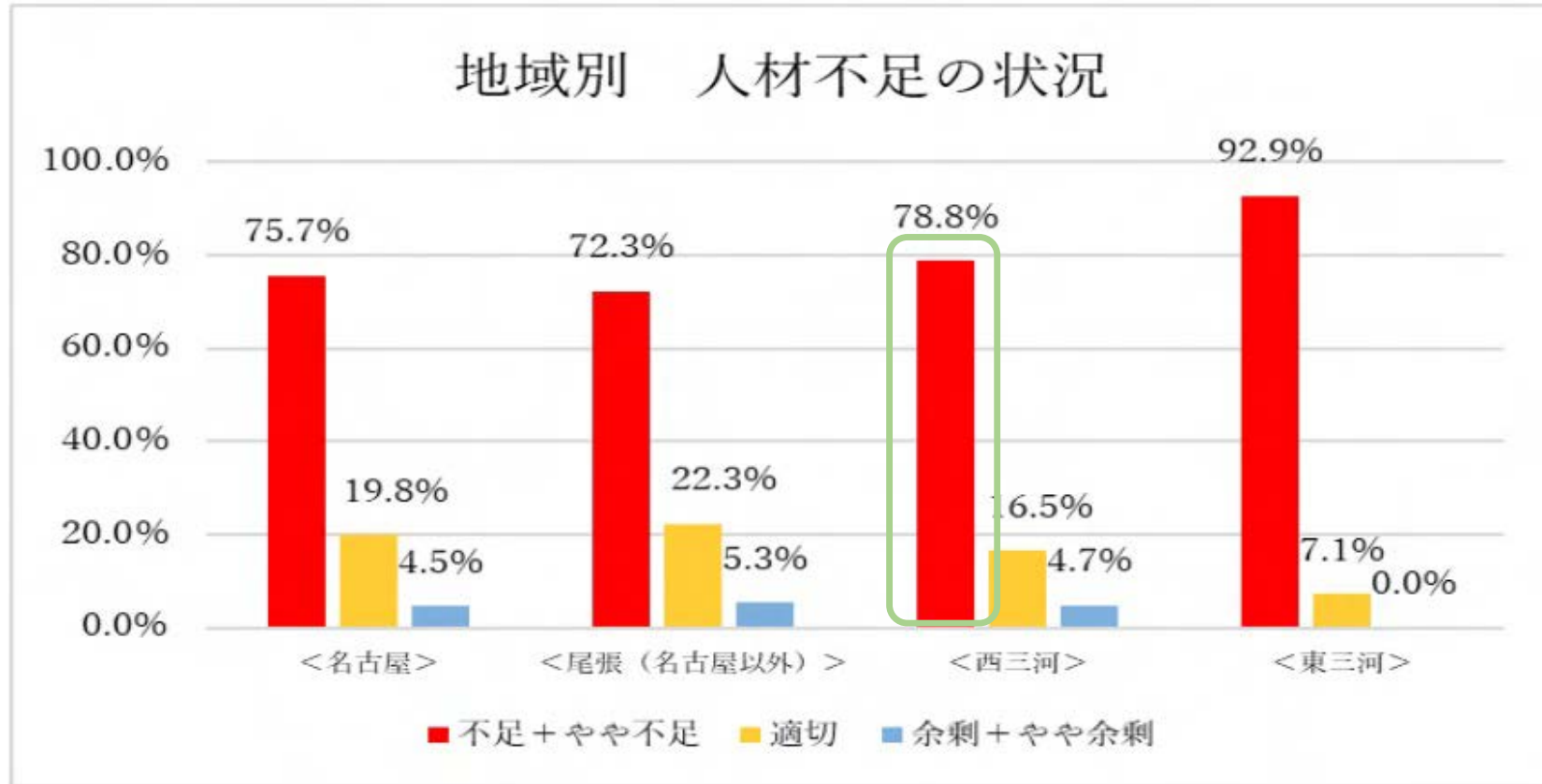


# 市内事業者の 人材不足

〈人材不足の状況〉

西三河地域 = **78.8%**

⇒ 人材不足に悩んでいる  
事業者が**約8割**



引用:人手不足に関する現状調査について(愛知県経営者協会)

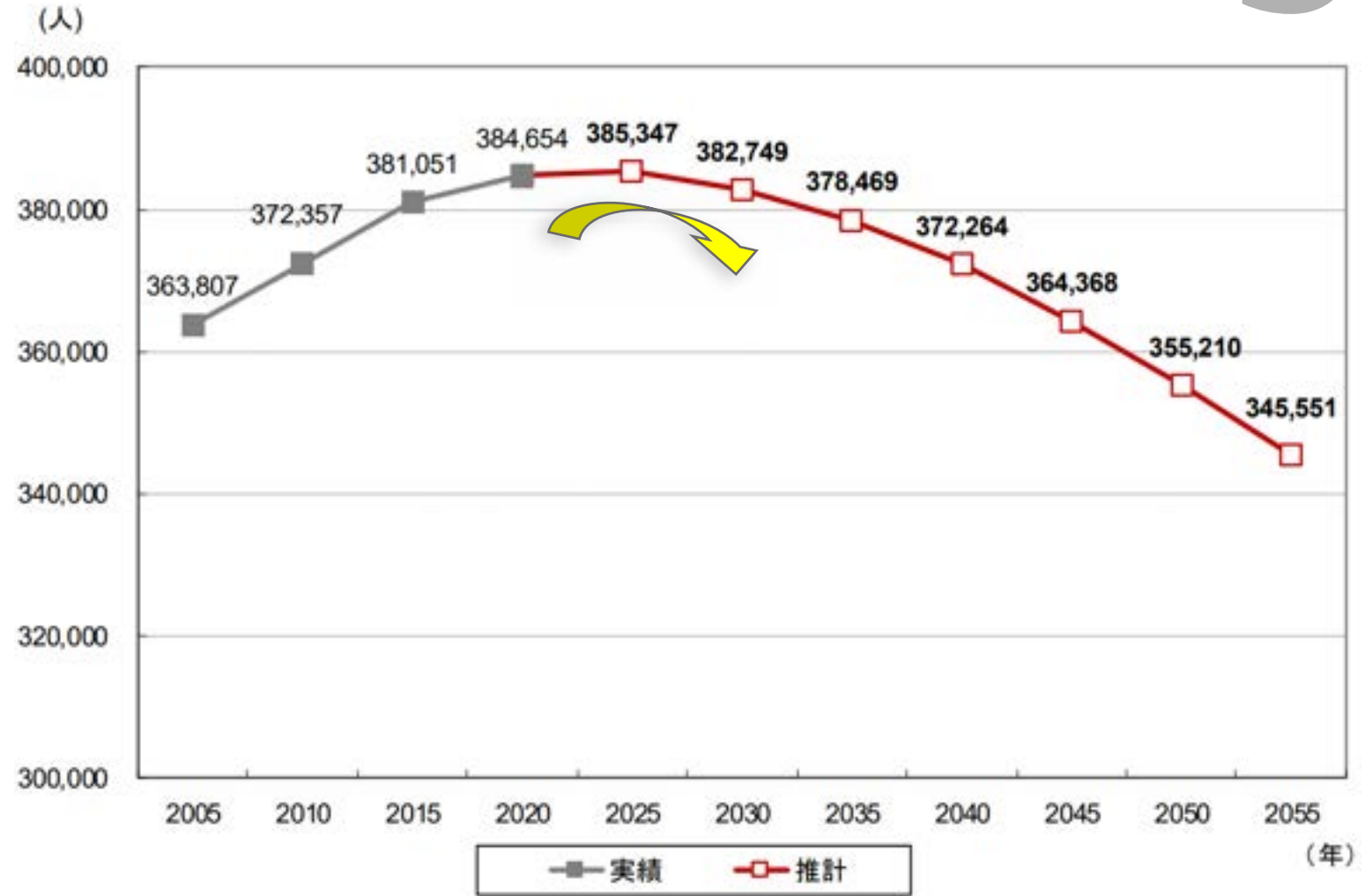


人口の減少予測

2025年を境に  
人口の減少が始まる

- **超高齢社会**への対応
- **少子化**への対応

⇒ **子育て世帯**や**女性**を  
呼び込むまちづくり



出典:岡崎市将来推計人口報告書(2024年3月)より

okazaki problem

1

女性の労働力率のM字カーブ

okazaki problem

2

市内事業者の人材不足

okazaki problem

3

人口の減少予測

## 働き続けられる環境の整備

働きたい・働き続けたい方のための労働環境の整備

## 働く側と働き口のアンマッチの解消

高齢者や女性をはじめとした潜在労働力が活躍できるよう育成や職場環境整備の支援

## 住み続けたいまちづくり

安心して楽しみながら子育てできる、子どもがのびのびと育つ、魅力あるまちづくり

テレワーカー育成事業

Teleworker advancement project



テレワーカー就労継続支援事業

Teleworker work support project



テレワーカーのための環境整備

Prepare the working environment



岡崎市  
テレワーク就労  
支援事業

# テレワーカー育成事業 Teleworker advancement project



## スキルの習得

### セミナー

- ・ビジネスマナー
- ・PCスキル
- ・起業家支援



## テレワーク体験

### テレワークの模擬業務の実施

- ・請負→納品→請求



## ビジネスマッチング

テレワーカーと事業所の  
マッチングイベント



令和元年度から延べ**906**名参加

就労率：約45%

# 3つの課題

仕事獲得



自営型テレワークを選択した場合、自分で仕事を獲得する必要がある

相談体制



自宅等で勤務するため、サポート体制がなく、二人で仕事を完結するのが難しい

安定的な就労



自営型テレワーカーの場合、雇用契約と違い安定的な就労に繋がらない  
また個人事業主としての業務が増える

テレワーカー就労継続支援事業

Teleworker work support project



## テレワーカー育成事業でみえてきた課題を解決するための官民連携事業

### 【マネジメント週間事業者の条件】

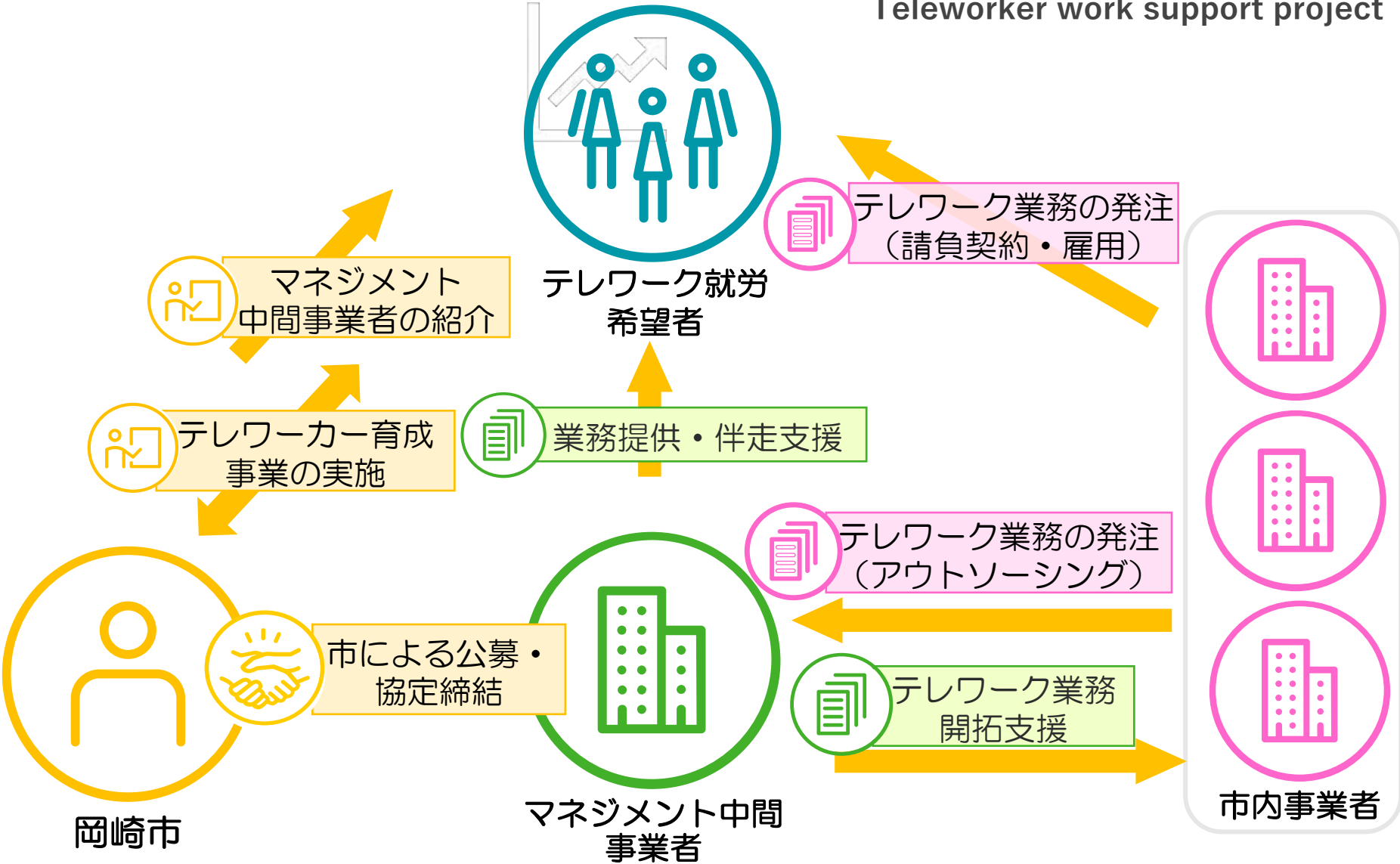
- ★テレワーク業務の獲得
- ★テレワーカーへの伴走支援
- ★市内事業者のテレワーク業務の開拓支援
- 柔軟な働き方の整備
- テレワーカー育成支援



マネジメント中間事業者



# テレワーカー就労継続支援事業 Teleworker work support project



# テレワーカー就労継続支援事業

## Teleworker work support project



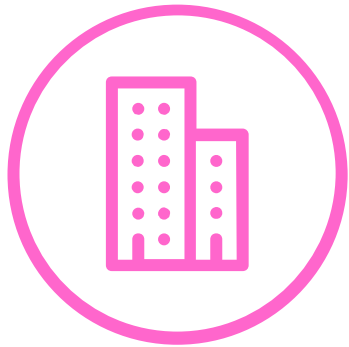
岡崎市

- ★柔軟な働き方による  
継続的な就労支援ができる
- ★柔軟な働き方や多様な仕事の  
選択肢を提供できる
- ★市内事業者  
柔軟な働き方の整備の促進



テレワーク就労希望者

- ★柔軟な働き方により、  
継続的な就労が可能
- ★伴走支援があることで安心  
して業務を遂行できる
- ★継続的なキャリア形成に  
繋がる



市内事業者

- ★業務改善の支援を受けること  
で生産性が向上し、本業の活  
動に注力できる
- ★企業価値の向上
- ★多様性のある働き方を導入す  
ること、人材の定着・採用  
力の強化につながる



マネジメント中間事業者

- ★一定のスキルを持った人材の  
採用確保につながる
- ★市内事業者の業務開拓支援  
から業務の獲得につながる

# テレワーカー就労継続支援事業 に関する事業協力協定

テレワーカー就労継続支援事業  
Teleworker work support project

〈マネジメント中間事業者〉

全ては、地域の皆さまの笑顔のために

EGAO GROUP



BPOテクノロジー



SoftBank

官民連携事業

## ショートタイムワーク事業

子育てや障がい等の理由により長時間の勤務が難しく、働く機会を得られなかった方が、週20時間未満程度の短時間でも、就労環境を整えることで「共に働く」を実現できる働き方です。

- ※ ショートタイムワークはソフトバンク株式会社の登録商標です
- ※ ショートタイムワークは、ソフトバンク株式会社が推奨している働き方です。
- ※ 岡崎市はソフトバンク株式会社と連携し、このショートタイムワークという働き方をショートタイムワーク事業として導入しています。

## 事業者の 導入支援



事業者向け  
ショートタイムワーク  
導入セミナー  
12社参加

## ビジネスマッチング



### 3社が導入を検討

現在、17名の方が  
テレワークでショートタイム  
ワークを実施！

**テレワークで  
短時間勤務をする  
子育て世代のかた  
大募集！**

申込は  
5/30(木)  
まで！

詳細はこちら！

**募集要項**

- 勤務期間/7月上旬頃から6カ月間
- 勤務時間/週日時間程度
- 勤務方法/書類審査、面接
- 対象/子育て世代で、以下対象に該当するかた  
※自宅などにインターネット環境が必要
- 募集事業所/以下3事業所
- 申込/5月30日(木)までに各事業所へ。  
詳しくは右のコードで。

事業所	対象	業務内容	人数	賃金
office OGBA 小森美之助博士事務所	会計事務所での業務経験のあるかた、またはやりたいこと(事業内容)のあるかた	業務作成、資料ソフトのデータ入力、業務簿帳など	1人	時給 1,300円
レイジーイングリップ ショクラブ (はいえスエーション)株式会社	パソコンの基本操作ができるかた	業務の印刷のテキスト編集や作成、プリントチェックなど	1人	時給 1,250円
株式会社三興コーポレーション	ExcelやVBA(マクロ)で定型業務を効率化できるかた	定型業務の効率化、業務作成など	1人	時給 1,057円~(※4割)

本事業は、岡崎市とソフトバンク株式会社が進捗している、テレワークを活用したショートタイムワーク事業の取組みです。

事業全体に関する問合せ▶岡崎市職工労政課 0564-23-6351  
※各事業所の業務内容及び申込等に関するお問い合わせは、各事業所へお問い合わせください。





workcation space  
ワークスペース  
(岡崎市わんパーク)



**テレワーカーのための環境整備**  
Prepare the working environment



# テレワーカーのための環境整備

Prepare the working environment

ワークスペース施設内：3か所

テレワークやワーケーション、会議など幅広く活用可能

利用実績：14件（R6.7月末まで）





# okazaki

## telework project







岡崎市  
OKAZAKI CITY







# 事例紹介

case study



普及貢献/ビジネス創出部門 奨励賞

# 株式会社HQ



最高の生産性をつくる  
リモートワーク支援プラットフォーム

# リモートHO





# HQ

## Company Information

会社名	株式会社HQ（HQ Inc.）
代表者	代表取締役 坂本 祥二
拠点	東京都港区港南1-9-36 アレア品川13階 エキスパートオフィス品川
設立日	2021年3月18日
資本金	1億円（資本準備金含め、約8.5億円）
事業内容	リモートワーク環境整備プラットフォーム「リモートHQ」 次世代福利厚生プラットフォーム「カフェテリアHQ」
認証取得	ISMS（ISO/IEC 27001:2013）
調達実績	金融系／独立系のベンチャーキャピタルから累計9億円の資金調達

-福利厚生をコストから投資へ-  
個と組織の間にシナジーを生む、成果につながる新しい福利厚生へ



# 様々な規模・業種で100社以上の導入実績

## エンタープライズ

**NTT Data**

NTTデータ 先端技術株式会社

**NTT Data**

株式会社NTTデータ フロンティア

**ORBIS**

**NTTDX**パートナー

**yokowo**

**NTT docomo**

NTT DOCOMO Ventures, Inc.

## IT

**LINE Digital Frontier**

**GMO** タウンWiFi

**Mobile Factory**

**ZENRIN DataCom**

**ARISE analytics**

**UNIRITA**

**MCEA HOLDINGS**

## SaaS

**cybozu**

**ULURU**

**Studyplus**

**あしたのチーム**

## 広告／メディア

**ADWAYS**

**SMARTCAMP**

**PIVOT**

**Allied Architects**

## スタートアップ／ベンチャー

**Timee**

**progate**

**TRUSTDOCK**

**ネットイイ**

**SecureNavi**

**CraftBank**

**Tenchijin**

## EC

**BUYSELL TECHNOLOGIES**

**READYFOR**

**Makuake**

**KURASHICOM**

## 人材

**メイダス**  
by PERSOL

**LEGGENDA**

**PEOPLE HORIZON**

# メディア掲載/受賞実績

## 日本経済新聞 (2024年4月11日)



## ワールドビジネスサテライト

(2024年4月11日放映)



## ビジネスインサイダー

(2024年4月11日)



## PIVOT (2024年5月7日)



## 日経MJ 一面記事 (2024年6月14日)



## 日本の人事部主催 HRアワード 組織変革開発部門 受賞

(カフェテリアHQ: 2024年7月16日)





# プロダクト

## 「Work-Life SYNERGY」を創造するための事業群

リモートワーク特化型の  
攻めの福利厚生

一人ひとりに個別最適なサポートを届ける  
全く新しいカフェテリアプラン



### リモートHO

2021年11月ローンチ  
導入企業100社以上



### カフェテリアHO

2023年11月発表  
2024年4月正式ローンチ



個

Work-Life  
SYNERGY

組織

- ✓自分にぴったりの備品を選べる
- ✓自己負担なく健康的な環境整備
- ✓専門コンシェルジュへの相談

- ✓リモート生産性の最大化
- ✓公平な制度運用
- ✓一括アウトソース

個

Work-Life  
SYNERGY

組織

- ✓自分に最適なサービスを選べる
- ✓忙しくても使いやすいUI/UX
- ✓AIによるパーソナライズ支援

- ✓個別対応なし、一括アウトソース
- ✓ワンストップで一元管理
- ✓投資対効果の最大化



# リモートワーク時代の就労環境の新たな課題

check  
1

コロナ禍を経てハイブリッドワークが完全に定着  
就労環境はオフィス一律ではなく、社員一人ひとり違う時代へ

check 2

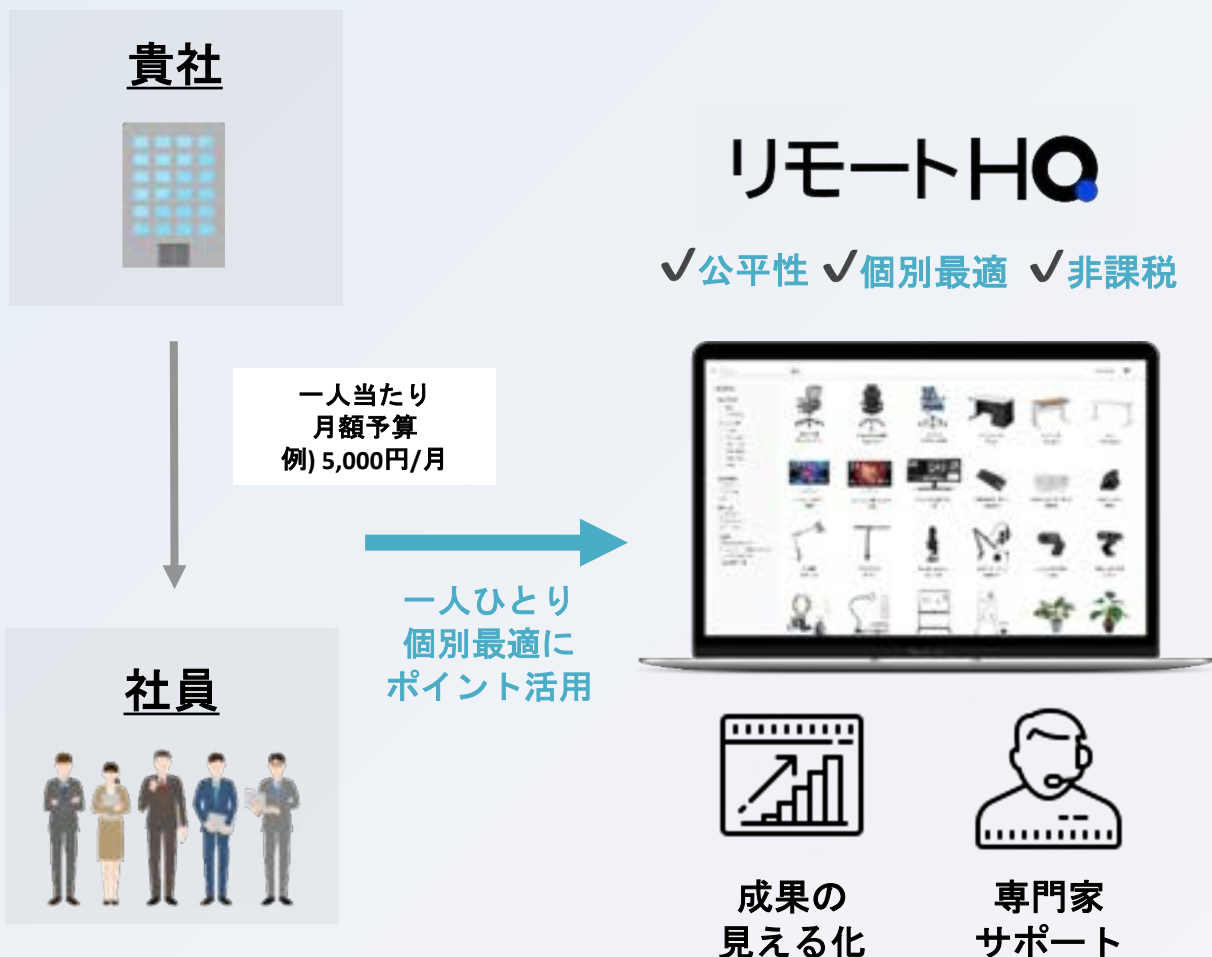
就労環境整備はオフィスと異なり、社員任せにならざるを得ない  
オフィスに比べ生産性が低く、その経済損失は大きい

check  
3

コロナ禍で始まった在宅手当が形骸化している事例が多数  
支給しても在宅環境整備に使われているか分からない

課題の特殊性にあわせた解決策が必要

# 在宅手当のような公平な仕組みで リモートワークの生産性を最大化する攻めの福利厚生



## 生産性向上に特化したラインナップ

### リモートワーク環境備品

1,000品超\*レンタル形式



OPTION / ラインナップに加えるかどうか選択



\*ラインナップに加えるカテゴリは貴社に  
合うようにカスタマイズ

### 毎月の経費精算／非課税

- 電気代・ネット代
- 学びの促進(書籍・研修/講座)
- レンタルオフィス



簡単な入力で  
国税庁の見解に準拠した  
非課税要件への対応が可能に

# 成果直結型かつ非課税で 個別最適なりモートワーク環境を支援

課題1 在宅手当は  
課税対象になってしまう

課題2 社員ごとに要望がちがい  
公平な支援が難しい

課題3 社員対応や資産管理の  
工数が肥大化



特徴1

## 非課税スキーム

- ✓ 報酬扱いにならずに支援可能
- ✓ 電気・ネット / 書籍代も非課税で精算



特徴2

## 個別最適なサポート

- ✓ 公平な制度のもと、社員一人ひとりが自身に最適なものを選択できる
- ✓ 整備・未整備問わず全社員が満足できる豊富なラインナップ



特徴3

## 一括アウトソース

- ✓ 調達・発送・返却などを一気通貫で対応
- ✓ 社員とのやり取りは全ておまかせ

# 特徴 1 経費扱い/非課税サービスで税務メリットあり

(月額7,000円・社員数1,000名の場合)

## これまでの在宅手当



在宅手当年額

8,400万円/年

社員 \* 試算値  
所得税負担

2,520万円/年

貴社 \* 試算値  
社会保険料

1,260万円/年

## リモートHO



在宅支援予算  
ネット代、電気代、備品整備  
等にフル活用

8,400万円/年

社員  
所得税負担  
\* 試算値

0円/年

貴社  
社会保険料

0円/年



※税負担額は、限界所得税率30%、社会保険料負担15%で算出

# 特徴2 社員一人ひとりに公平かつ個別最適なサポート



Aさん6,900円

- ・ワンルーム / 単身者
- ・30歳 / エンジニア / マネージャー
- ・業務環境へのリテラシー高く、ハイエンド志向

## ハイエンド / 生産性追

求



Bさん6,910円

- ・3LDK / 4人世帯
- ・40歳 / 総務部 / 一般社員
- ・業務環境へのリテラシー低く、最低限でOK

## 環境整備基本セット

(レンタル+ネット・電気代精算)



Cさん6,940円

- ・2LDK / 3人世帯
- ・35歳 / 営業部 / 一般社員
- ・幼児の子育て中、コスト意識が高い

## 経費精算フル活用

(レンタル+ネット/書籍/研修代精算)





# 特徴3 一括アウトソースで管理部門の負荷が軽減

	月額手当/一時支援金	経費精算形式	内製での環境整備支援	リモートHQ
公平性	◎ 皆に一律支給できる	× 承認形式であり、金額や基準が曖昧になりやすい	△ 多様なニーズに公平に応えるのが難しい	◎ 公平な枠組みで提供 約1,000点の商品があり、 多様なニーズに対応可
生産性向上	×～△ 金銭的な負担もあり社員任せだと環境整備が進まない	×～△ リテラシーの高い社員以外は環境整備が進まない	×～△ 備品の提供のみだと環境整備が進まない	◎ 専門家への相談により個別に課題解決が可能
税務面	× 課税対象	× 課税対象	△～◎ 資産管理すれば非課税にもできる※1	◎ 非課税
運用工数	◎ 一律対応可能	△～○ 上長の承認チェックが必要 社員も確認が入り手間が発生	× 個別対応や資産管理のオペレーションが膨大	○ 一括アウトソーシング可能 導入時の説明会、新入社員/退職社員登録は必要

# 導入企業様の声



## 非課税スキーム



株式会社COMPASS 様

### 税制面のメリット活かし実質支援額 を上乘せ！ 在宅手当の課題を解消

在宅勤務手当は所得として支給されるため、課税対象となり、社員の手元に入るのは7~8割。会社側にも社会保険料がかかりますので、効率が良くないと考えていました。

手当1万円の支給からリモートHQ12000ポイントに切り替え、在宅環境に必要なものをリースでき、電気代などの精算も可能になりました。



## 個別最適なサポート



LINE Digital Frontier株式会社 様

### 高機能チェア・デスクが使えること で

オフィス同等の環境になったと高評「自分の手ではオフィスと同じ環境を整えられない」と、在宅環境の整備は課題になっていました。

リモートHQ導入により、なかなか買えない高機能チェアや昇降デスクを利用できるようになり、入社時と変わらない環境を実現できています。エンジニア職は、生産性向上に直結するモニターやキーボードの最新機材を試しているようです。



## 一括アウトソース



サイボウズ株式会社 様

### 就労環境提供のアウトソース 費用を抑えながら大幅な工数削減

年間500件の備品貸与工数を削減し、他の付加価値の高い業務に注力したいと考えていました。

従来の運用と比較しても費用対効果高く移行できることに加え、コンシェルジュ対応の細やかなサポートにより、「従来制度よりも生産性向上や働きやすさに寄与する確信」が持て切替導入を決定しました。

# 詳細なデモンストレーションをご用意

リモートHQ



マイページ
お気に入り
ヘルプ
カート
ポイント

あなたにぴったりの  
リモートワーク環境を

### # HQスタッフおすすめの商品

10% OFF				10% OFF	10% OFF	10% OFF
Yeti BM400BK	BenQ ScreenBar Halo モニターライト	マルチポートドocking ステーション WL-U06...	【日本語JIS配列】4K4K Professional HYBRID...	ジャーナルスタンダード フタニチャアー コンパス...	ルームランナー B08K35 6M84	モバイルバッテリー BTL -RDC18
1,210pt / 月	1,500pt / 月	1,080pt / 月	1,600pt / 月	1,020pt / 月	1,880pt / 月	1,910pt / 月
点検済みリユース品	新品	新品	新品	点検済みリユース品	点検済みリユース品	点検済みリユース品

### # 割引中のお得なリユース品

30% OFF	14% OFF	30% OFF	14% OFF	30% OFF	30% OFF	14% OFF
BELGER Chair ベルガー チェア	【シングル用】-27イン チ対応 MARMOSU1918	Think2 Chair シンク2チ ェア	11インチiPad Pro (第4 世代)・iPad Air (第5...	Leap V2 Chair リープV2 チェア LEAP-30100	Spina Chair スピナーチ ェア	【カプセルタイプ】コー ヒーメーカー S85-BK-W
1,730pt / 月	300pt / 月	4,080pt / 月	1,420pt / 月	5,120pt / 月	3,510pt / 月	2,230pt / 月
点検済みリユース品	新品	点検済みリユース品	点検済みリユース品	点検済みリユース品	点検済みリユース品	点検済みリユース品

# カタログ集・無料在宅環境調査・トライアル導入をご用意

## カタログ集 (備品選び手引き付き)



## 無料の 在宅環境調査



## トライアル導入 (導入レポート付き)





「ハイブリッドワークプラン」ご提供開始

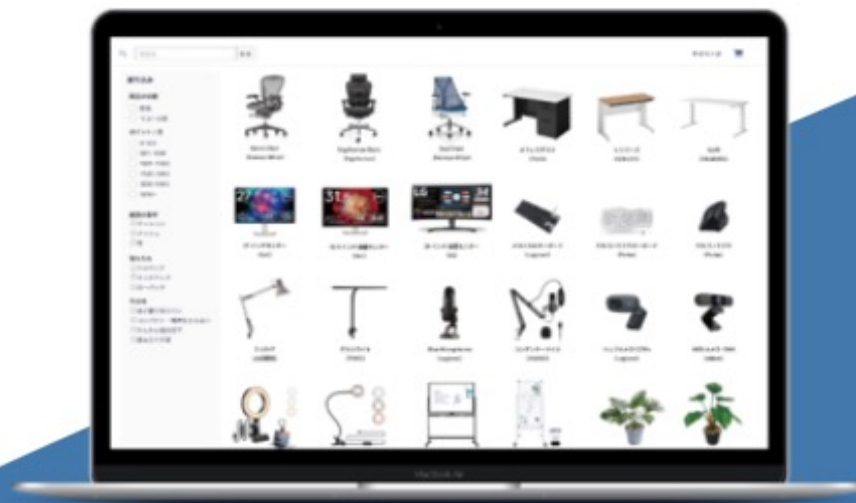
## リモートHO

自宅にもオフィスにも個別最適な備品を届ける  
「ハイブリッドワークプラン」を提供開始

NEW



自宅にもオフィスにもお届け





HO



事例紹介

case study



ユニークな取り組み部門 ユニーク賞

株式会社シーエーシー





# 新しい働き方における コミュニケーション機会創出の取り組み



# 株式会社 *シーイーシー*

所在地：東京都中央区日本橋箱崎町24-1

設立：2014年4月1日（創業：1966年）

代表者：代表取締役社長 西森良太

資本金：400百万円

売上高：29,905百万円（2023年12月期）

従業員数：1,231名（2023年12月31日現在）

株主：株式会社CAC Holdings（100%出資）

主要事業品目：システム構築サービス・システム運用管理サービス・業務受託サービス



本社外観

# 『新しい働き方』の導入

## 変更前の働き方



決まった時間に決まった場所で



## 新しい働き方



時間と場所にとらわれない



# 『新しい働き方』の導入

通勤主体

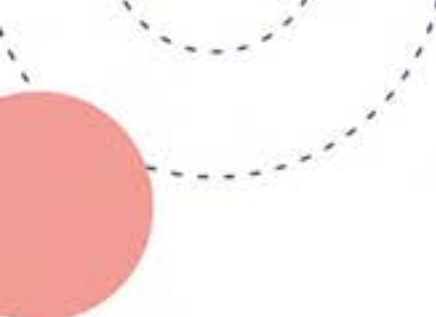
在宅勤務主体

## 全社出席率

50%

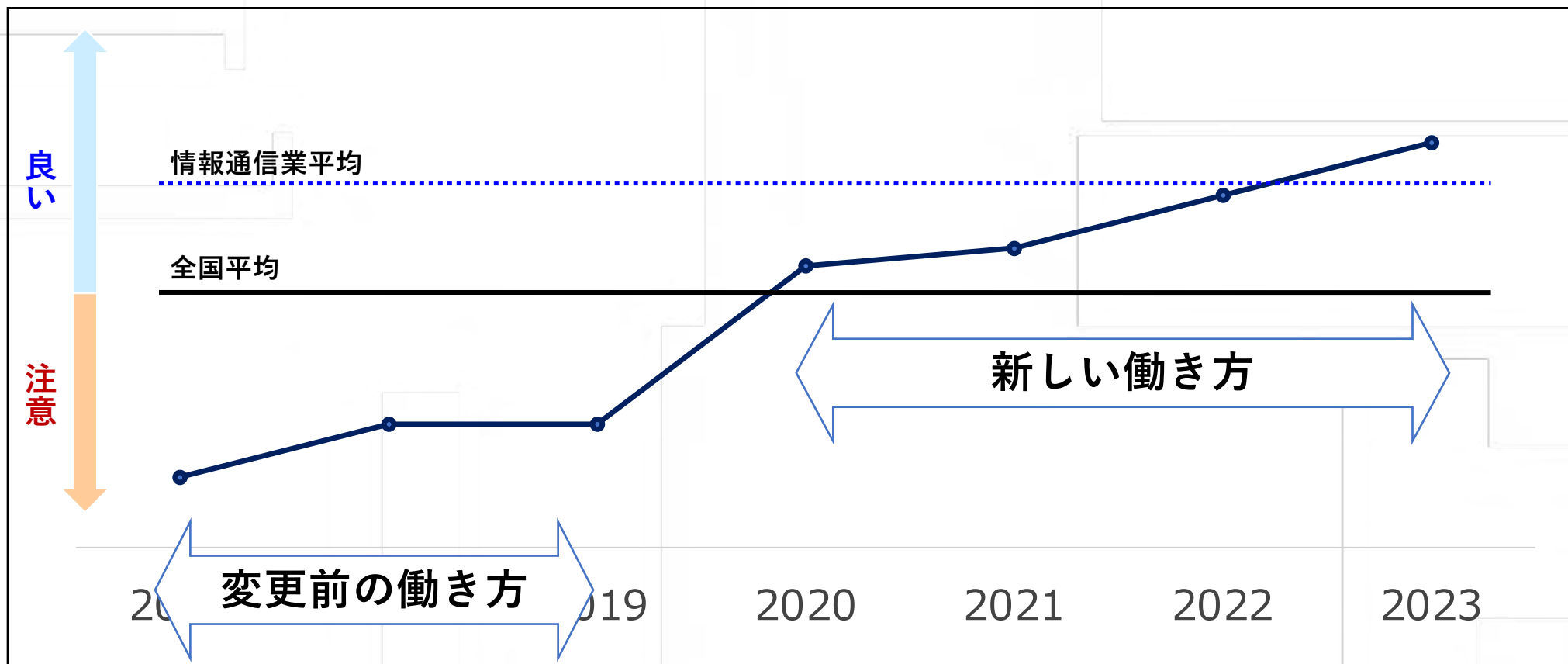
2024年10月  
48.9%

2020-08 2021-01 2021-06 2021-11 2022-04 2022-09 2023-02 2023-07 2023-12 2024-05 2024-10

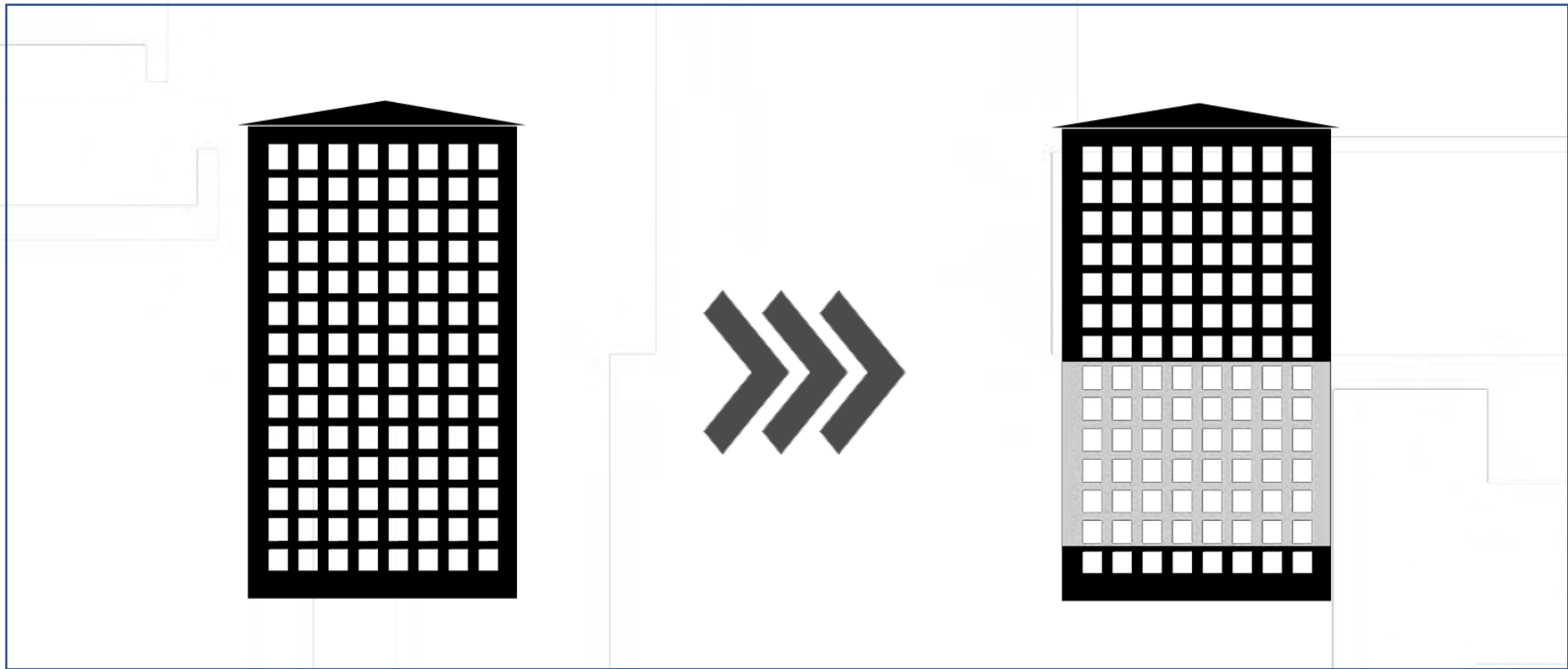


# 「いきいき度」の向上

※業界平均値は2022年度同調査利用企業



# 本社オフィスを縮小



フロア面積の約4割を削減

# オフィス環境はオンライン対応へ



**【BEFORE】**

対面での打ち合わせに適した環境



**【AFTER】**

対面エリアを縮小し個人ブースを新設

# CAC Vision 2030

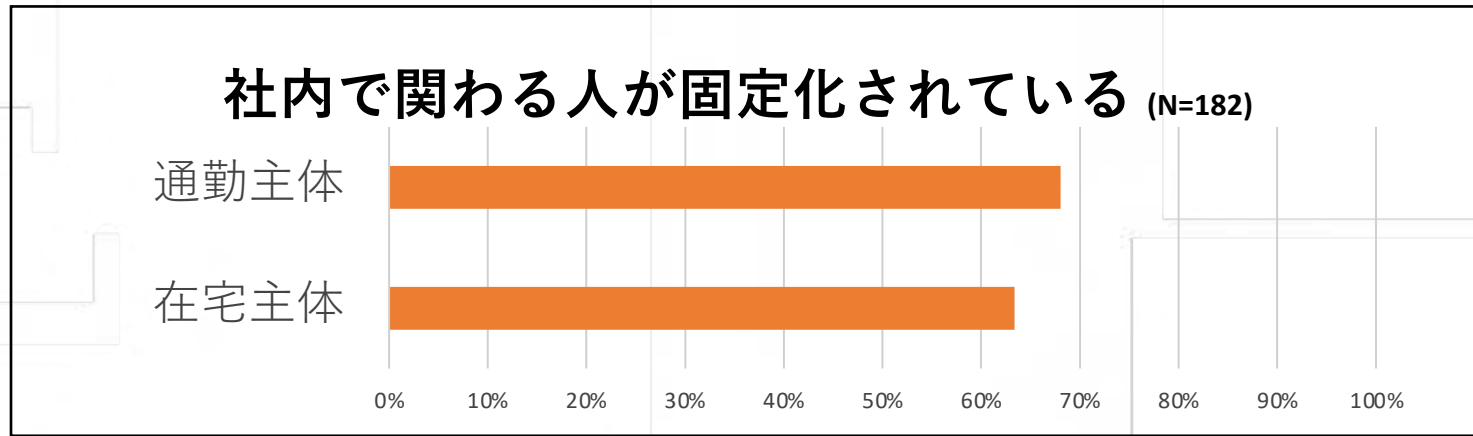
テクノロジーとアイデアで、社会にポジティブなインパクトを与え続ける企業グループへ



ビジョン達成には、多様な考え方を知り、自由に発言できる風土がとても重要であり、キャリア形成においても、多様なロールモデルを知る必要性が増している。



# コミュニケーションに関する課題は多い



社内でいつも話すのは  
自分の周りにはいる10数人だけ



キャリア、人生、悩みや目標が  
意外に相談しにくい



今の方法で社員の本音が  
汲み取れているか不安

# コミュニケーションツール “hashigake” 導入

「ツールをうまく活用して、まずは会話機会を増やすところからやってみましょう！」というメッセージを発信

**目的：タテヨコナナメの会話機会の創出**

タテ：上司と部下のような組織図上のタテの関係

ヨコ：部署のメンバー間や同期つながりなどヨコの会話

ナナメ：部署や役職を飛び越えた会話

# 「マッチング」と「トーク」をツールが支援

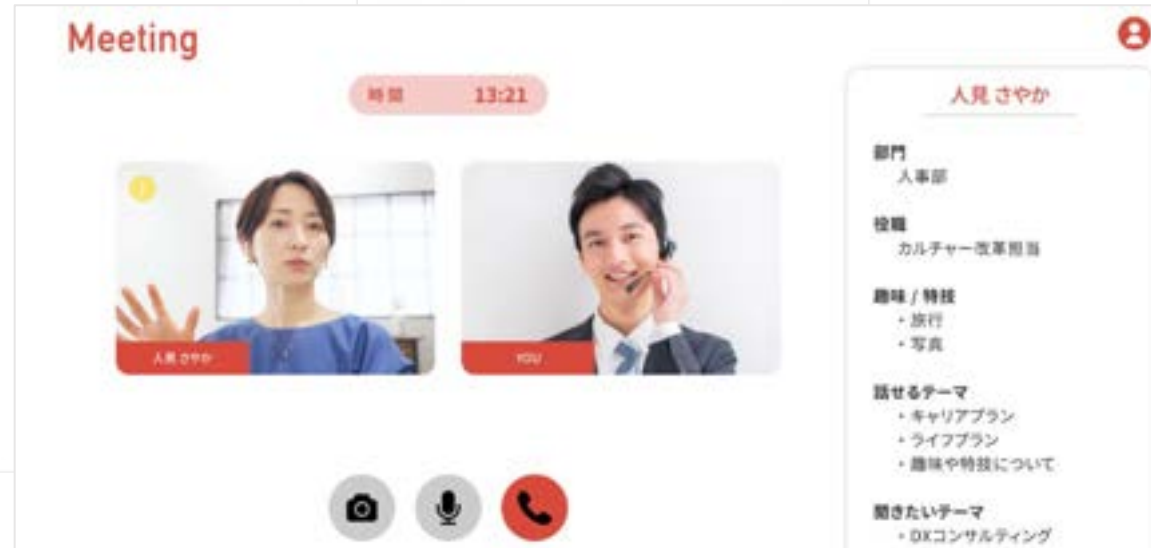


参加者はプロフィールや開催頻度を登録して、後はメールを待つだけ  
予定やプロフィールをもとに、hashigakeがトーク相手と時間をセット

# 「マッチング」と「トーク」をツールが支援

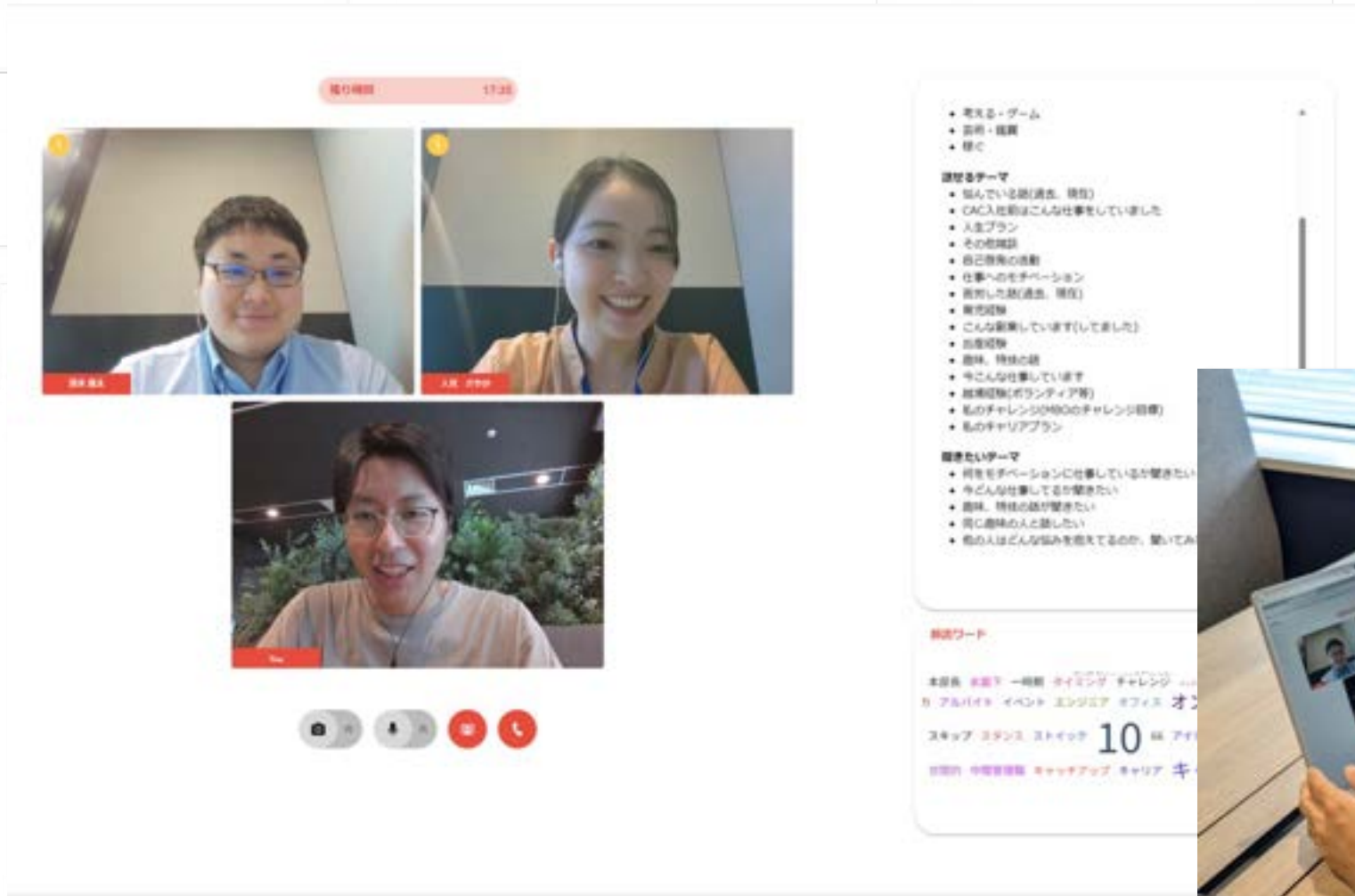


トーク



時間になったらメールのリンクからトークに参加  
2~3人の少数で、かつプロフィールに共通項があるのでトークが弾む

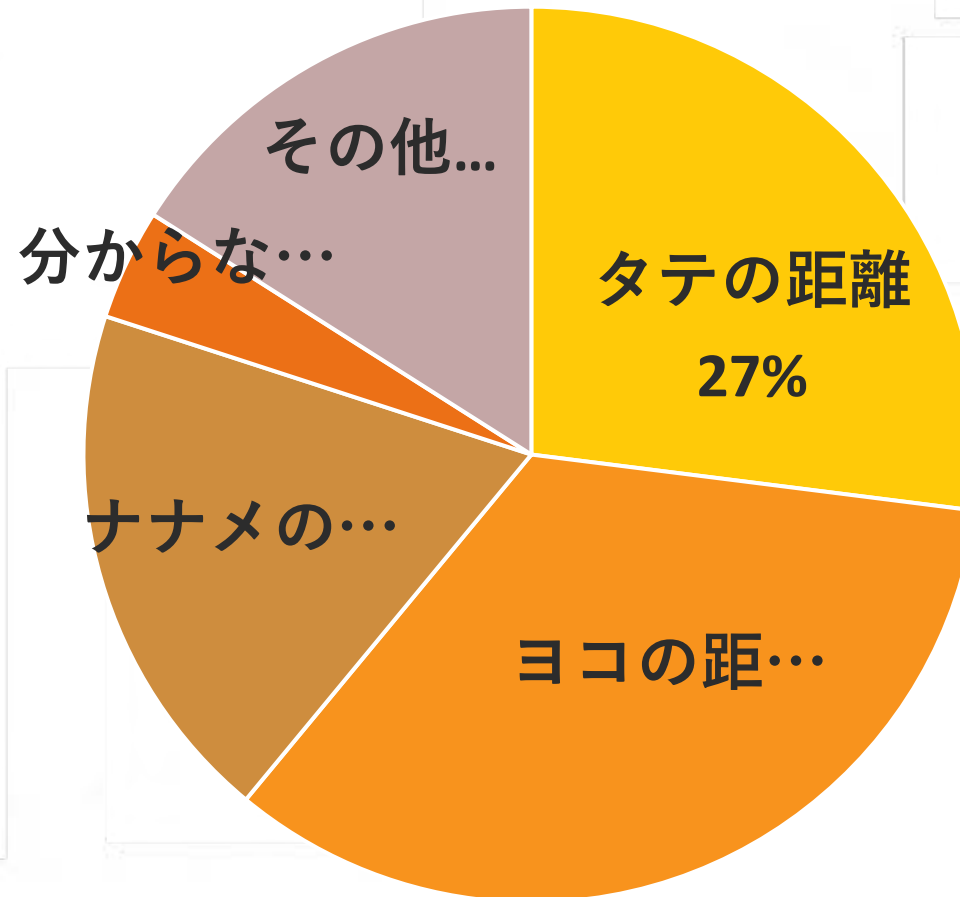
# 垣根を越えた会話機会の実現





# タテヨコナナメの関わり創出に成功

トーク相手との関係タイプ  
(N=538, 複数回答)



# 社員にポジティブなインパクト

普通に仕事をしていると会話する機会のない方々と同じテーマについて

思考や行動の変化に繋がる  
具体的効果が出てきている



3名でのトークで利用してみると、今回は皆、同じ役職という回でした。役職は同じでも、部門がそれぞれ異なる方々だったので、大変刺激になりました。



話した相手は久しぶりに会話する方でした。「過去に一緒に仕事した or 一緒に仕事した経験はないが知り合い」、しかし「会話する機会はない」という方との再会、関係性のリテンションには有効だと感じました。

・自分のキャリアを見据えて日々の業務をしている姿勢に刺激を受けました。自分のやりたいこと、自分のなりたい姿を考えて動こうと、改めて思いました。

・hashigakeで様々な人と仕事観やモチベーションの会話を通して、自社への帰属意識が上がったと感じます。

・10年後の自分がどんなモチベーションをもって仕事に臨んでいるのか、少しイメージを持つ事ができました。

**CAC**

# JTA Practice Gallery

<https://japan-telework.or.jp/jta-practice-gallery/>



「JTA Practice Gallery」は日々進化しているテレワークの最新事例を公開することにより、これからテレワークの導入を検討している企業・団体や、既にテレワーク導入済みでさらにステップアップしたい企業・団体が参考にし、更なるテレワークの普及・促進を図ることを目的としています。

「JTA Practice Gallery」では各企業・団体の取り組みを3分程度のYouTube動画でご覧いただけます。

是非、テレワークを活用した柔軟な働き方につなげていただければ幸いです。

# 問合せ先



<https://japan-telework.or.jp/>

## 一般社団法人日本テレワーク協会

住所：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-103 東京パークタワー2F

担当：関 正吾

E-Mail：sekis@japan-telework.or.jp

Tel：03-5577-4572 携帯:080-7723-6261 Fax:03-5577-4582



**(注意) 本資料の情報を転載、複製、改変等は禁止いたします。**